

令和5年度四日市スマートリージョン・コア推進協議会

第1回幹事会

開催日時 令和5年8月17日（木）14:00～16:00
開催場所 四日市商工会議所 3階大会議室（オンライン併用）

1 議事次第

- ・議決事項 第1号 協議会規約の改定について・・・・・・・・・・・・・・・・資料1
- ・議決事項 第2号 幹事会会員の変更について・・・・・・・・・・・・・・・・資料2
- ・議題 第1号 R5年度の協議会の進め方・・・・・・・・・・・・・・・・資料3
- ・議題 第2号 ワーキンググループ（WG）の実施報告・・・・・・・・・・資料4
- ・議題 第3号 R5年度スマートシティ実装化支援事業の採択について・・・・資料5
- ・議題 第4号 スマート・インフラに係る検討について・・・・・・・・・・資料6
- ・議題 第5号 その他報告事項について・・・・・・・・・・・・・・・・資料7

2 各議題の説明

議決事項 第1号 協議会規約の改定について

本協議会会長を四日市市長 森智広から四日市市副市長 舘英次へ変更すること、またスマートシティ化に向けた事業の推進を具体化するために財務規定を追加することを理由として、本協議会規約を改定することを提案いたします。詳細は資料1をご参照ください。

つきましては、規約の改定に関して、本協議会規約第7条第5項の規定に基づき承認を求めます。

議決事項 第2号 幹事会会員の変更について

本協議会会長は、令和5年6月に、中部電力株式会社（以下、中部電力）の林 俊弥氏から、および令和5年7月に早稲田大学の有賀 隆教授から提出された本協議会への参画申込書を受け、両者に対して協議会参画を委嘱しました。これを受けて、本幹事会会長（四日市市副市長 舘英次）としては、早稲田大学有賀教授が本協議会で実行するR5年度スマートシティ実装化支援事業の取組などにおいて重要な役割を果たせ、また中部電力が本協議会で実現を目指すエネルギー関係の取組などにおいて重要な役割を果たせるものとして、両者を幹事会に参画することを提案いたします。また、株式会社日建設計から社名変更の届け出を受けております。詳細は資料2、及び別添3、4、5をご参照ください。

つきましては、幹事会員の変更に関して、本協議会規約第7条第5項の規定に基づき、承認を求めます。

議題 第1号 R5年度の協議会の進め方

前回（令和4年度第3回）幹事会で提示した今年度のスケジュール案を更新しております。詳細は資料3を参照ください。

議題 第2号 ワーキンググループ（WG）の実施報告

前回（令和4年度第3回）幹事会以降、データプラットフォームWGを1度、モビリティWGとモビリティWG主催の分科会を1度ずつ開催いたしました。各WGの実施状況についてご説明します。詳細は資

料4を参照ください。

議題 第3号 R5年度スマートシティ実装化支援事業の採択について

本年度5月、国土交通省都市局公募の「R5年度スマートシティ実装化支援事業」に、四日市市中央通りにおける実証計画案を提出し、補助事業として採択されました。詳細は資料5をご覧ください。

議題 第4号 スマート・インフラに係る検討について

スマート化に向けたサービス展開のために必要なセンシング機器や通信機器等を「スマート・インフラ」として実行計画に記載しております。今年度工事発注が行われる中央通り再編の先行整備区間（西2工区）において、上記の実装化支援事業の一環として「スマート・インフラ」の導入を行うべく検討を行っています。詳しくは資料6を参照ください。

議題 第5号 その他報告事項について

並行して検討を進める事項（データプラットフォーム、アイデアソン）についてご説明します。詳しくは資料7-1、7-2をご確認ください。

3 資料

資料0：次第・議案書（本紙）

資料1-1：協議会規約の改定について

資料1-2：協議会規約の新旧対照表

資料1-3：現行規約本文

資料1-4：改定規約本文

資料2：四日市スマートリージョン・コア推進協議会会員の変更案

資料3：今年度のスケジュールについて

資料4-1：データプラットフォームWGの実施状況について

資料4-2：モビリティWGの実施状況について

資料5：スマートシティ実装化支援事業の概要について

資料6：スマート・インフラに係る検討について

資料7-1：データプラットフォームについて

資料7-2：アイデアソンについて

別添1：出席者名簿

別添2：席次表

別添3：参画申請書（中部電力）

別添4：参画申請書（早稲田大学有賀教授）

別添5：社名変更の届出（日建設計）

以上

議決事項 第1号 協議会規約の改定について

1. 改正の趣旨

(1) 監査委員の設置（第5条第1項第2号）

今回の改正により四日市スマートリージョン・コア推進協議会（以下「推進協議会」という。）で予算を計上できるよう規定の整備を行うことから、合わせて監査委員の設置を行う。

(2) 会長の副市長への変更（第5条第2項）

推進協議会は国の補助事業を四日市市に事業委託して執行する予定のため、委託契約において双方代理の制限に抵触するため、推進協議会会長を市長から副市長に変更する。

(3) 会議招集の特例（第7条の2）

会議を招集する時間的余裕がない場合その他やむを得ない場合には書面により賛否を問い、会議に代えることができる旨規定する。

(4) 事務局規程の整備（第11条第3項）

国庫補助事業をはじめとする事業の執行にあたり必要となる事項を規定する。

(5) 協議会予算の計上、財務規程の整備（第12条第2項、第12条の2）

協議会が国庫補助事業の採択を受けて事業を実施することから、国庫補助金及び市の負担金を財源とする予算を計上する。また、これに必要な事項を規定する。

2. 改正日

令和5年8月17日（木）

令和5年度四日市スマートリージョン・コア推進協議会第1回幹事会において規約改正を諮る。

3. 新旧対照表、規約（改正前、改正後）

別紙のとおり



四日市スマートリージョン・コア推進協議会規約の一部改正について

四日市スマートリージョン・コア推進協議会規約の一部を次のように改正する。

| 改正後 | 改正前 |
|--|--|
| <p>(役員)</p> <p>第5条 <u>協議会に次の役員を置く。</u></p> <p>(1) <u>会長 1人</u></p> <p>(2) <u>監査委員 1人</u></p> <p>2 会長は、<u>四日市市副市長</u>とする。</p> <p>3 会長は、<u>会務を総理し協議会を代表する。</u></p> <p>4 <u>会長は、必要に応じて会議を招集することができる。</u></p> <p>5 <u>会長は、監査委員を会員の中から指名する。</u></p> <p>6 <u>監査委員は、協議会の会計監査を行い、その結果を協議会の会議において報告する。</u></p> <p>7 <u>前項における会計監査の方法及び手続については、四日市市の例により行うものとする。</u></p> | <p>(会長)</p> <p>第5条 <u>協議会の会長は、会務を統括して協議会を代表する。</u></p> <p>2 会長は、<u>四日市市長</u>とする。</p> <p>3 会長は、必要に応じて会議を招集することができる。</p> |
| <p>(幹事会)</p> <p>第7条 (略)</p> <p>2 幹事会長は、<u>四日市市副市長</u>とする。</p> <p>3から6まで (略)</p> | <p>(幹事会)</p> <p>第7条 (略)</p> <p>2 幹事会長は<u>四日市市副市長</u>とする。</p> <p>3から6まで (略)</p> |
| <p>(会議招集の特例)</p> <p>第7条の2 <u>会長は、緊急の必要があり</u></p> | |

| | |
|---|--|
| <p><u>会議を招集する時間的余裕がない場合 その他やむを得ない理由のある場合 は、議事の概要を記載した書面を各委員に回付し、賛否を問い、会議に代えることができる。</u></p> <p><u>2 前条第5項及び第6項の規定は、前項の場合について準用する。</u></p> <p>(庶務)</p> <p>第11条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p><u>3 事務処理に関し必要な事項は、会長が別に定める。</u></p> <p>(経費等)</p> <p>第12条 (略)</p> <p><u>2 本会の事業に要する経費については、予算により、これを定める。</u></p> <p>(財務に関する事項)</p> <p><u>第12条の2 協議会の予算編成、現金の出納その他財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。</u></p> <p>(協議会が解散した場合の措置)</p> <p><u>第12条の3 協議会が解散した場合には、協議会の会計は、解散の日をもって打ち切り、残余財産については会長であったものがこれを決算する。</u></p> | <p>(庶務)</p> <p>第11条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>(経費等)</p> <p>第12条 (略)</p> <p><u>2 本会の事業に要する経費については、実施主体となる会員がその事業費を負担し、一切の責任を負う。</u></p> |
|---|--|



附 則

(施行期日)

この規約は、令和 5 年 8 月 1 7 日から施行する。

「四日市スマートリージョン・コア推進協議会」規約

(名称)

第1条 本会は、「四日市スマートリージョン・コア推進協議会」（以下、「協議会」という。）と称する。

(目的)

第2条 協議会は、公民学が一体となって、相互に連携・協力し、地域の抱える様々な課題を解決するために、IoTやAIを含むICT等の先端技術を活用し、都市の機能と魅力を高め、活力あふれる都市を実現することを目的とする。

(事業)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) スマートシティ化に向けた実行計画の策定
- (2) スマートシティ化に向けた事業の推進
- (3) その他協議会の目的を達成するため必要な事業

(会員)

第4条 協議会は、市長が委嘱する委員、目的に賛同する企業、団体、地方公共団体等をもって組織する。

(会長)

第5条 協議会の会長は、会務を統括して協議会を代表する。

- 2 会長は、四日市市長とする。
- 3 会長は、必要に応じて会議を招集することができる。

(組織)

第6条 協議会に、幹事会、ワーキンググループを設置する。

- 2 幹事会は、協議会の円滑な運営に関して必要な調整を行い、実行計画を策定する。
- 3 ワーキンググループは、実行計画に定める事業の検討を行うため、必要に応じて会長が設置することができる。

(幹事会)

第7条 幹事会は、会員の中から会長が指名する者で構成し、新たに追加する場合は幹事会の承認を必要とする。

- 2 幹事会長は四日市市副市長とする。
- 3 幹事会には座長を置くものとし、座長は、会長の指名により定める。
- 4 座長は、専門的な識見をもって第2条の目的の達成に必要となる助言を行う。
- 5 幹事会の議決は幹事会員総数の過半数をもって決し、可否同数のときは幹事会長がこれを決する。
- 6 やむを得ない理由により会議に出席できない会員は、あらかじめ通知された事項につき、書面をもって議決権を行使することができる。

(ワーキンググループ)

第8条 ワーキンググループの構成は、会員又は会員の推薦を受けた者をもって充てる。

- 2 ワーキンググループには、必要に応じて会長が定めるアドバイザーを置くことができる。
- 3 アドバイザーは、専門的な識見をもって第2条の目的の達成に必要となる助言を行う。

(関係者の意見聴取等)

第9条 幹事会及びワーキンググループは、活動の為必要があると認めるときは、関係者に対し、出席を求めて説明若しくは意見を聴き、又は資料の提供を求めることができる。

(会議の公開について)

第10条 幹事会については、原則公開とする。ただし、座長は、公開することにより、公正かつ円滑な会議運営に著しい支障が生ずると認められるなど、特別な理由がある場合には非公開とすることができる。

- 2 ワーキンググループについては、非公開で行うものとする。

(庶務)

第11条 協議会運営及び活動内容に関する事務処理を行うため、事務局を四日市市役所内に設置する。

- 2 事務局は、協議会の運営にあたって、以下の活動を担当する。
 - (1) 本規約に定める事務手続き
 - (2) 協議会の目的達成に必要な各種資料の作成
 - (3) その他協議会の運営に必要な事務

(経費等)

第12条 会議等に要する費用及び参加報酬等は、特に事務局からの提示がない限り、会員の自己負担とする。

- 2 本会の事業に要する経費については、実施主体となる会員がその事業費を負担し、一切の責任を負うものとする。

(秘密保持)

第13条 協議会の会員は、協議会において知り得た活動内容または他の会員（以下「開示者」という。）に関する一切の事項を、開示者に無断で第三者に開示又は漏えい等してはならない。

(知的財産権等)

第14条 第3条に定める事業によって生ずる可能性のある知的財産権等の帰属については、別途団体間であらかじめ書面をもって明確にする。

(雑則)

第15条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規約は、令和3年8月12日から施行する。

「四日市スマートリージョン・コア推進協議会」規約

(名称)

第1条 本会は、「四日市スマートリージョン・コア推進協議会」（以下、「協議会」という。）と称する。

(目的)

第2条 協議会は、公民学が一体となって、相互に連携・協力し、地域の抱える様々な課題を解決するために、IoTやAIを含むICT等の先端技術を活用し、都市の機能と魅力を高め、活力あふれる都市を実現することを目的とする。

(事業)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) スマートシティ化に向けた実行計画の策定
- (2) スマートシティ化に向けた事業の推進
- (3) その他協議会の目的を達成するため必要な事業

(会員)

第4条 協議会は、市長が委嘱する委員、目的に賛同する企業、団体、地方公共団体等をもって組織する。

(役員)

第5条 協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 監査委員 1人

2 会長は、四日市市副市長とする。

3 会長は、会務を総理し協議会を代表する。

4 会長は、必要に応じて会議を招集することができる。

5 会長は、監査委員を会員の中から指名する。

6 監査委員は、協議会の会計監査を行い、その結果を協議会の会議において報告する。

7 前項における会計監査の方法及び手続については、四日市市の例により行うものとする。

(組織)

第6条 協議会に、幹事会、ワーキンググループを設置する。

2 幹事会は、協議会の円滑な運営に関して必要な調整を行い、実行計画を策定する。

3 ワーキンググループは、実行計画に定める事業の検討を行うため、必要に応じて会長が設置することができる。

(幹事会)

第7条 幹事会は、会員の中から会長が指名する者で構成し、新たに追加する場合は幹事会の承認を必要とする。

- 2 幹事会長は、四日市市副市長とする。
- 3 幹事会には座長を置くものとし、座長は、会長の指名により定める。
- 4 座長は、専門的な識見をもって第2条の目的の達成に必要な助言を行う。
- 5 幹事会の議決は幹事会員総数の過半数をもって決し、可否同数のときは幹事会長がこれを決する。
- 6 やむを得ない理由により会議に出席できない会員は、あらかじめ通知された事項につき、書面をもって議決権を行使することができる。

(会議招集の特例)

第7条の2 会長は、緊急の必要があり会議を招集する時間的余裕がない場合その他やむを得ない理由のある場合は、議事の概要を記載した書面を各委員に回付し、賛否を問い、会議に代えることができる。

- 2 前条第5項及び第6項の規定は、前項の場合について準用する。

(ワーキンググループ)

第8条 ワーキンググループの構成は、会員又は会員の推薦を受けた者をもって充てる。

- 2 ワーキンググループには、必要に応じて会長が定めるアドバイザーを置くことができる。
- 3 アドバイザーは、専門的な識見をもって第2条の目的の達成に必要な助言を行う。

(関係者の意見聴取等)

第9条 幹事会及びワーキンググループは、活動の為必要があると認めるときは、関係者に対し、出席を求めて説明若しくは意見を聴き、又は資料の提供を求めることができる。

(会議の公開について)

第10条 幹事会については、原則公開とする。ただし、座長は、公開することにより、公正かつ円滑な会議運営に著しい支障が生ずると認められるなど、特別な理由がある場合には非公開とすることができる。

- 2 ワーキンググループについては、非公開で行うものとする。

(庶務)

第11条 協議会運営及び活動内容に関する事務処理を行うため、事務局を四日市市役所内に設置する。

- 2 事務局は、協議会の運営にあたって、以下の活動を担当する。
 - (1) 本規約に定める事務手続き
 - (2) 協議会の目的達成に必要な各種資料の作成
 - (3) その他協議会の運営に必要な事務
- 3 事務処理に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(経費等)

第12条 会議等に要する費用及び参加報酬等は、特に事務局からの提示がない限り、会員の自己負担とする。

- 2 本会の事業に要する経費については、予算により、これを定める。

(財務に関する事項)

第12条の2 協議会の予算編成、現金の出納その他財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(協議会が解散した場合の措置)

第12条の3 協議会が解散した場合には、協議会の会計は、解散の日をもって打ち切り、残余財産については会長であったものがこれを決算する。

(秘密保持)

第13条 協議会の会員は、協議会において知り得た活動内容または他の会員（以下「開示者」という。）に関する一切の事項を、開示者に無断で第三者に開示又は漏えい等してはならない。

(知的財産権等)

第14条 第3条に定める事業によって生ずる可能性のある知的財産権等の帰属については、別途団体間であらかじめ書面をもって明確にする。

(雑則)

第15条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規約は、令和3年8月12日から施行する。

附 則

この規約は、令和5年8月17日から施行する。

四日市スマートリジョン・コア推進協議会会員の変更案

資料2

幹事会役員

| | |
|---------------------------|-------------------------------|
| 有識者 | 東京大学大学院 工学系研究科 准教授 村山 顕人（座長） |
| | 名城大学理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授 松本 幸正 |
| | 早稲田大学大学院 創造理工学研究科 教授 有賀 隆 |
| 交通関係者 | 近畿日本鉄道(株) |
| | 三重交通(株) |
| | 三岐鉄道(株) |
| | 三重県タクシー協会/三交タクシー |
| 商工関係者 大規模権利者 事業展開企業 | 学校法人みえ大橋学園 |
| | (株)近鉄百貨店 |
| | 四日市商工会議所 |
| | (株)ディア四日市 |
| | 近鉄グループホールディングス(株) |
| | 近鉄不動産(株) |
| | (株)シー・ティー・ワイ |
| | (株)三十三銀行 |
| | 中部電力(株) |
| 行政 | 国土交通省 中部地方整備局 三重河川国道事務所 |
| | 三重県 県土整備部 都市政策課 |
| | 四日市市（会長：副市長舘英次） |

オブザーバー

| |
|---------------|
| 国土交通省 都市局 |
| 国土交通省 中部地方整備局 |
| 国土交通省 中部運輸局 |

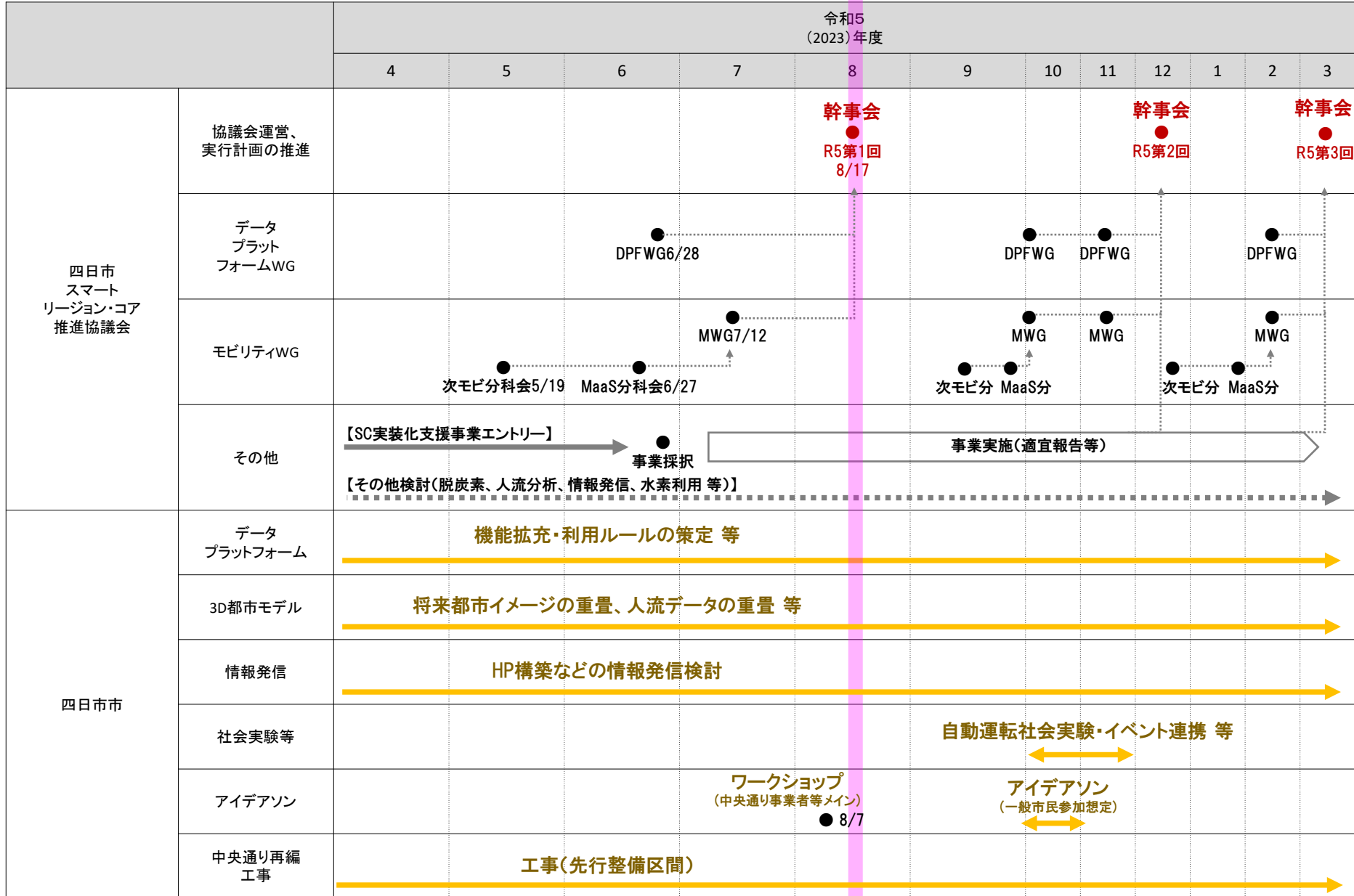
賛助会員

| |
|-------------|
| (株)日建設計 |
| (株)バカン |
| (株)FIXER |
| 富士通Japan(株) |
| FUTURE(株) |
| (株)マクニカ |

今年度のスケジュールについて

資料3

現時点



データプラットフォームWGの実施状況について

ワーキンググループ（WG）の設置状況

令和3年12月にデータプラットフォームWGとモビリティWGをそれぞれ以下のメンバー構成で設置した。

| データプラットフォームWG参画企業 | 位置づけ |
|-------------------------------|--------|
| (株)シー・ティー・ワイ | 代表 |
| 近鉄グループホールディングス(株) | |
| (株)三十三銀行 | |
| 中部電力(株) | |
| (株)日建設計 | |
| (株)バカン | |
| (株)FIXER | |
| 富士通Japan(株) | |
| (株)マクニカ | |
| 三重交通(株) | |
| 四日市商工会議所 | |
| 内閣官房 オープンデータ伝道師 武蔵大学 庄司 昌彦 | アドバイザー |
| 四日市市 | 事務局 |
| (株)日建設計総合研究所 | 事務局補佐 |

| モビリティWG参画企業 | 位置づけ |
|-------------------|--------|
| (株)マクニカ | 代表 |
| 近鉄グループホールディングス(株) | |
| 三岐鉄道(株) | |
| (株)シー・ティー・ワイ | |
| 中部電力(株) | |
| (株)日建設計 | |
| (株)バカン | |
| (株)FIXER | |
| FUTURE(株) | |
| 富士通Japan(株) | |
| 三重県タクシー協会 | |
| 三重交通(株) | |
| 四日市商工会議所 | |
| 国土交通省三重河川国道事務所 | オブザーバー |
| 四日市市 | 事務局 |
| (株)日建設計総合研究所 | 事務局補佐 |

(代表、アドバイザー、オブザーバー、事務局および事務局補佐を除き五十音順_継承略)

第8回 データプラットフォームWG

開催日時：令和5年6月28日 13時00分～14時30分

開催形式：オンライン

出席者：後述

〔報告内容〕

- ・ 令和5年度の活動方針（検討内容）
- ・ 活動方針に基づいた地域との連携
- ・ 年間スケジュールについて

データプラットフォームWG 実施報告

四日市スマートリージョンコア推進協議会（幹事会）報告 第8回 データプラットフォームWG（出席者）

四日市スマートリージョン・コア
第8回 データプラットフォームWG
出席者リスト

別添

令和5年6月28日(水) 13:00~15:00
オンライン開催

| | 社名等 | 所 属 | 氏 名 (敬称略) |
|------------|-----------------------|--------------------------|------------------|
| WG 参考会員 | 近鉄グループ ホールディングス(株) | 事業戦略部 | 林 龍人 |
| | | 事業戦略部 | 溝口 雄斗 |
| | | 事業戦略部 | 今井 健太 |
| | ㈱三十三銀行 | 営業企画部 デジタル・リテール企画課 | 福田 賢治 |
| | ㈱シー・ティー・ワイ | ICTソリューション推進部 ソリューション営業課 | 山本 龍太郎 |
| | | ICTソリューション推進部 ソリューション営業課 | 富田 茂樹 |
| | 三重交通(株) | バス営業部 | 寄詰 真也 |
| | | 企画部 新交通サービス推進課 | 小瀬古 恵則 |
| | 四日市商工会議所 | 商工振興課 | 石垣 照子 (水谷氏代理) |
| | ㈱日建設計 | CRS部門 CR部 | 尾西 崇 |
| | | 都市・社会基盤部門 シビルG 開発設計部 | 吉澤 広大 |
| | ㈱バカン | DX事業本部 | 山口 智也 |

| | 社名等 | 所 属 | 氏 名 (敬称略) |
|--|------------------|---|--------------|
| | 富士通Japan(株) | 東海公共ビジネス部 | 飯伏 勝也 |
| | | ソリューショントランスフォーメーション本部 | 古川 竜也 |
| | | ソリューショントランスフォーメーション本部 | 内田 賢志 |
| | | ソリューショントランスフォーメーション本部 | 根本 高広 |
| | | ソリューショントランスフォーメーション本部 | 山本 剛 |
| | | ソリューショントランスフォーメーション本部 | 和田 昌樹 |
| | | ソリューショントランスフォーメーション本部 | 澤田 奈美 |
| | | ソリューショントランスフォーメーション本部 | 滝田 淳 |
| | | クロスインダストリービジネス本部 | 富中 一幸 |
| | | クロスインダストリービジネス本部 | 加藤 駿 |
| | クロスインダストリービジネス本部 | 若林 東 | |
| | ㈱マクニカ | イノベーション戦略事業本部 スマートシティ&モビリティ事業部 スマートモビリティ事業推進部 | 福田 泰之 |
| イノベーション戦略事業本部 スマートシティ&モビリティ事業部 CPSソリューション開発部 | | 小出 優 | |
| アドバイ ザー | - | 内閣官庁 オープンデータ伝道師 武蔵大学 社会学部 教授 | 庄司 昌彦 |
| 行政窓口 | 四日市市 | 事務局・事務局補佐に同じ | |

〔報告〕 令和5年度の活動方針

令和5年度は、昨年度、データプラットフォームWGで開催したワークショップで出た課題やニーズ、実施主体者の情報をもとに、以下のTASKに整理し協議を進める。

TASK 1

新たなサービス創出
(データ利活用)

実施主体者とともに、
既存事業でのデータの利活用を検討
※既存事業（R5年度）は地域イベントを想定

TASK 2

データ利活用
ルールの策定

官民利用を見据えたデータプラットフォームの利活用ルールの作成

データプラットフォームWG 実施報告

〔報告〕 活動方針に基づいた地域との連携

「リージョン・コアYOKKAICHI地区」の活性化、賑わい創出を目的としている四日市エリアプラットフォームと連携して、データを活用した取り組みを実施

三重県四日市市：中心市街地

エリアプラットフォームの構築/未来ビジョン等の新規策定

都市再生整備計画事業「リージョン・コアYOKKAICHI地区」におけるまちなかウォーカブル区域を含めた中心市街地において、パブリックスペースの質的向上と回遊性向上によるまちの活性化や賑わいの創出を図るため、官民一体となるプラットフォームを組成し、多様なプレイヤーが共有する未来ビジョンの策定を目指す。

事業概要（R4事業費：2,852千円、R4国費：2,852千円）

■ 構成員と専門人材 <四日市市エリアプラットフォーム>



【官】四日市市
【民】四日市諏訪商店街振興組合ほか商店街関係者、商工会議所、観光協会、街づくり協議会、自治会、(株)ディア四日市、(株)シーティーワイ、四日市大学、東京大学地域未来社会連携研究機構等

【専門人材】



有賀 隆氏
都市設計・計画／早稲田大学理工学術院 創造工学部 教授



村山 顕人氏
都市工学／東京大学大学院工学系研究科 准教授



石田 祐也氏
建築設計・パブリックスペースデザイン／合同会社shau代表、一般社団法人ソトハ共同代表理事

過年度の取組

これまで商店街や民間有志が中心となった公共空間の活用として、以下のような取組みを行ってきた。

- 1) Park(ing)Day四日市 (R3.9)
- 2) オープンストリートインヨッカイチ (R3.11)
- 3) 四日市JAZZ フェスティバル (H24～)
- 4) オリジナル屋台「スワ屋台」開発 (R2.3)
- 5) USED BOOK BOX (R3.4)



未来ビジョンの検討方針

【課題】昼間の人通りが少なく、日常的にぎわいが生まれにくい

【方針】中央通りの街路空間再編、近鉄四日市駅前のバスタの整備等、中央通りを中心としたウォーカブルなまちづくりと運動しながら、後背地にある諏訪新道やアーケード街等の商店街と住宅街の道路空間や、諏訪公園や市役所東広場等のパブリック空間を歩行者ネットワークの重要な拠点として捉え、それぞれのあり方を日常的にぎわいという視点から検討する。

■ 将来イメージ 「日常的にぎわいをうむパブリックスペースが人をつなぐ」

スケジュール

■ R4年度

| 実施内容 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----------|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 未来ビジョン策定 | | | | ●R5 | | | |
| 未来ビジョン策定 | | | | ●R5 | | | |
| 未来ビジョン策定 | | | | ●R5 | | | |
| 未来ビジョン策定 | | | | ●R5 | | | |

■ 今後の予定

R5 未来ビジョン策定予定

データプラットフォームWG 実施報告

- ・四日市エリアプラットフォームが関連するイベントで、現存するデータで活用できるデータの確認（イベント企画での活用の可否等）、今後、イベントを企画する上で必要なデータの確認

〔同団体との検討状況〕

- ・連携するイベント案は、11月18日、19日に開催予定の「お諏訪さん市」
- ・「お諏訪さん市」開催に向けた課題やニーズのヒアリングをエリアプラットフォーム事務局へヒアリング

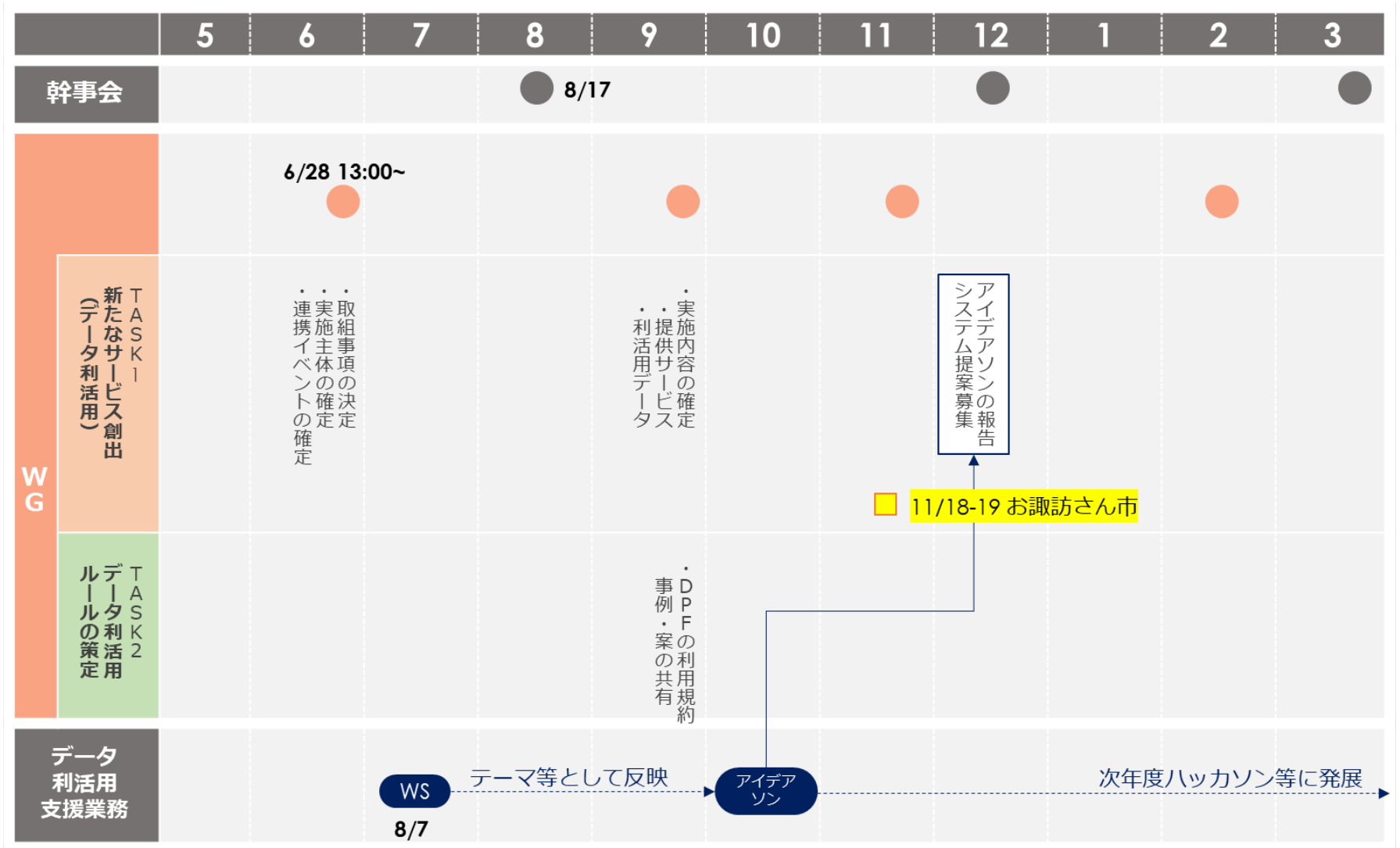
| 項目 | 内容（補足） |
|-------|--|
| 行事名 | お諏訪さん市 |
| 内 容 | 商店街の回遊性を狙い、四日市中心部の各商店街が連携した取り組み |
| 開催日 | 令和5年11月18日・19日 ・11月、12月は商店街のイベントが少なく企画された ・令和5年度はB1グランプリにあわせ企画 |
| 開催時間 | 10時00分～16時00分（場所により21時まで） |
| 開催頻度 | 年に1回（2回目開催・来年度も開催見込） |
| 主催者 | 諏訪栄街地区まちづくり協議会 （四日市）エリアプラットフォームは協力 |
| スタッフ数 | 約10名 |
| 周知 | SNS（インスタ・facebook・Twitter）、B1グランプリのチラシへの掲載 |
| 企画方法 | 具体的検討は、7月・8月頃から。 |



ニーズ／課題（抜粋）

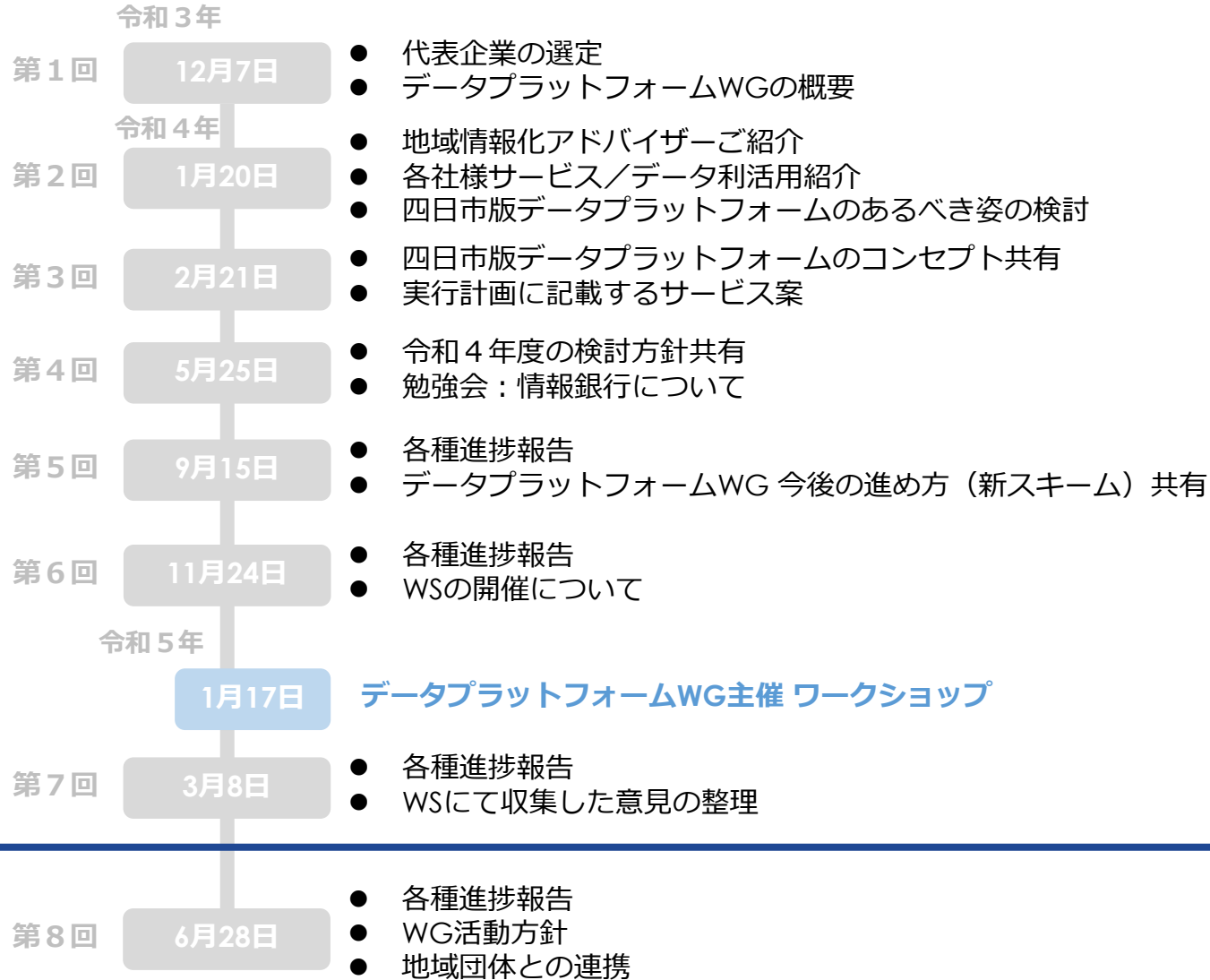
- ・ JR四日市駅側の乗降者の場合、来場者の動線がJR四日市駅と三滝通りのピストン、三滝通りからシャトルバスの利用で商店街がスルーされる懸念。
- ・ 来場者の目的が不明①
アンケートも検討したが、取得できる数量が限定的のため、未実施
- ・ 来場者の目的が不明②
商店街への効果、今後のイベント企画のため、来場者がどこに立ち寄ったのか、滞留している人が何をしているのか、不明。
- ・ イベントの企画が来場者の満足度に繋がっているか不明。

データプラットフォームWG 実施報告



データプラットフォームWG 実施報告

〔過年度の成果〕WGの開催状況



モビリティWGの実施状況について

ワーキンググループ（WG）の設置状況

令和3年12月にデータプラットフォームWGとモビリティWGをそれぞれ以下のメンバー構成で設置しました。

| データプラットフォームWG参画企業 | 位置づけ |
|-------------------------------|--------|
| (株)シー・ティー・ワイ | 代表 |
| 近鉄グループホールディングス(株) | |
| (株)三十三銀行 | |
| 中部電力(株) | |
| (株)日建設計 | |
| (株)バカン | |
| (株)FIXER | |
| 富士通Japan(株) | |
| (株)マクニカ | |
| 三重交通(株) | |
| 四日市商工会議所 | |
| 内閣官房 オープンデータ伝道師 武蔵大学 庄司 昌彦 | アドバイザー |
| 四日市市 | 事務局 |
| (株)日建設計総合研究所 | 事務局補佐 |

| モビリティWG参画企業 | 位置づけ |
|-------------------|--------|
| (株)マクニカ | 代表 |
| 近鉄グループホールディングス(株) | |
| 三岐鉄道(株) | |
| (株)シー・ティー・ワイ | |
| 中部電力(株) | |
| (株)日建設計 | |
| (株)バカン | |
| (株)FIXER | |
| FUTURE(株) | |
| 富士通Japan(株) | |
| 三重県タクシー協会 | |
| 三重交通(株) | |
| 四日市商工会議所 | |
| 国土交通省三重河川国道事務所 | オブザーバー |
| 四日市市 | 事務局 |
| (株)日建設計総合研究所 | 事務局補佐 |

(代表、アドバイザー、オブザーバー、事務局および事務局補佐を除き五十音順_継承略)

モビリティWG 分科会について

- 下表の企業各位に参加申し込みをいただいております。

| 次世代モビリティ分科会 |
|--------------|
| (株)シー・ティー・ワイ |
| (株)FIXER |
| 富士通Japan(株) |
| 三重交通(株) |
| |

| データ連携・MaaS創出分科会 |
|-------------------|
| 近鉄グループホールディングス(株) |
| (株)シー・ティー・ワイ |
| (株)バカン |
| (株)FIXER |
| 富士通Japan(株) |
| 三重交通(株) |
| 四日市商工会議所 |

(代表、アドバイザー、オブザーバー、事務局および事務局補佐を除き五十音順_継承略)

※分科会へのご参加は随時受け付けております。参加を希望される場合は、事務局補佐の日建設計総合研究所小松 (komatsu.koki@nikken.jp)、和田 (wada.masato@nikken.jp) にご連絡ください。

令和5年度モビリティWGにおける分科会について

■各分科会の活動内容概要と本年度のスケジュール

①次世代モビリティ分科会

・自動運転バスやパーソナルモビリティといった次世代モビリティの社会実装検討

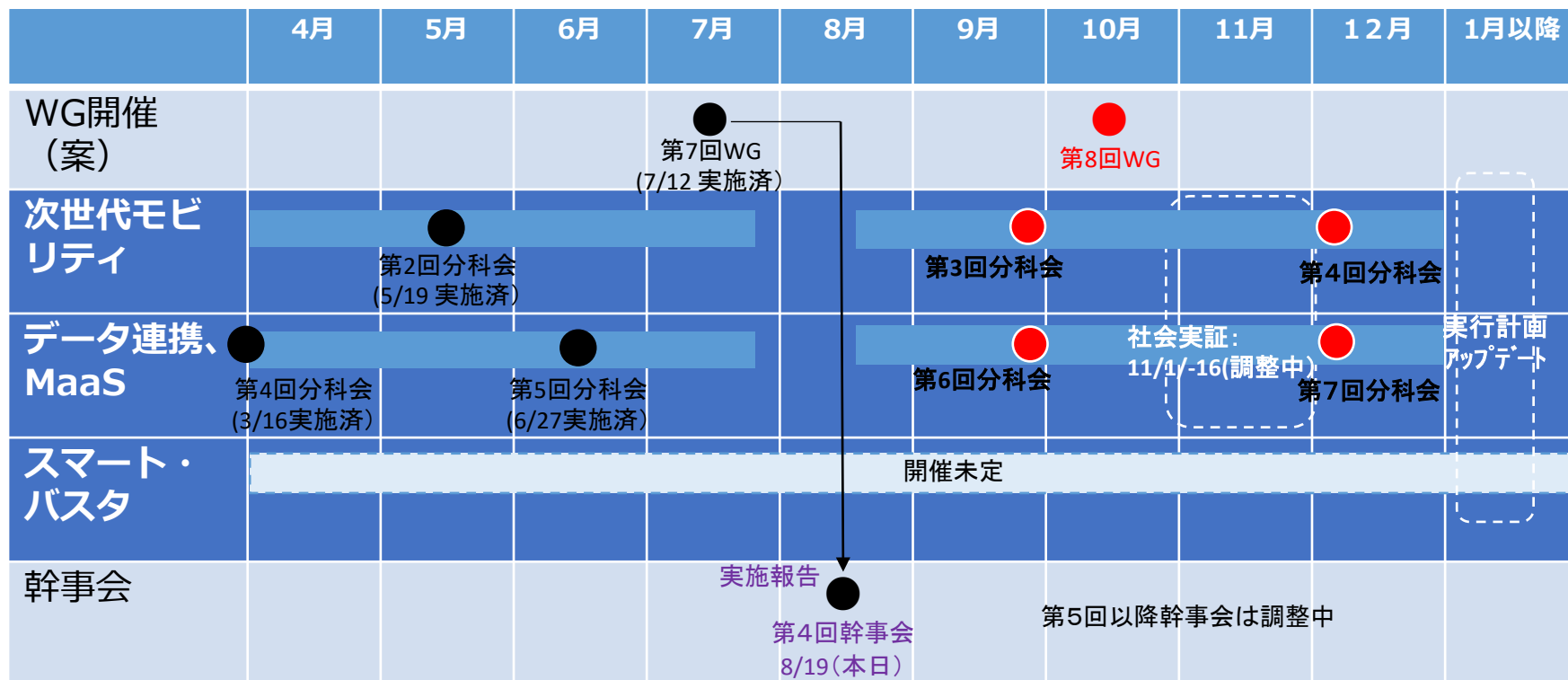
②データ連携・MaaS 創出分科会

・「四日市版MaaS」創出に向けた活動

③スマートバスタ分科会(こちらは現在ペンディング中)

・バスタの先進的な利活用に関する議論を通してバスタの活用率を最大化する目的

- ・ おおまかなスケジュールは下記を想定しております。
- ・ 分科会を先行して実施し、決定事項や課題、協議項目をWG内で共有しながら進めてまいります
- ・ 分科会につきましては、3ヵ月毎で実施しますが、実証実験前後等で緊急開催する可能性はございます



(データ連携・MaaS分科会) 第4回 令和5年3月16日 (木)

- 前回の分科会議論振り返り
 - ・ 「四日市版MaaS」開発に向けた各社様からの意見共有
 - 「四日市版MaaS (仮)」開発プロセス案について
 - ・ 開発に向けた役割分担や進め方に関する意見交換
- * Phaseを3つに分けて、スモールスタートから初めて段階的に開発を進めていく方向性にて各社合意**

(データ連携・MaaS分科会) 第5回 令和5年6月27日 (火)

- 四日市版MaaS (仮) 開発プロセス案について
 - ・ 中長期企画概要 (フェーズ1~3の概要・スケジュール)
 - ・ 今年度の企画概要 (フェーズ1としてのデジタルスタンプラリー等)
 - ・ 今年度のスケジュール (秋のイベントまでのマイルストーン等)

(次世代モビリティ分科会) 第2回 令和5年5月19日 (金)

- 昨年度実証実験「まちなかモビリティ」について
 - ・ 令和4年度に実施した実証実験の振り返り (要約) 共有
- 「四日市版MaaS」今年度の実施事項 (案)
- モビリティ実証実験と参加募集について
 - ・ 令和5年度の実証実験に向けた次世代モビリティ活用に関する参加企業の募集を実施

(モビリティWG) 第7回 令和5年7月12日 (水)

- 今年度の自動運転実証実験について (全体像確認)
 - データ連携・MaaS分科会/次世代モビリティ分科会における議論内容の振り返り
 - SC実装化支援事業を踏まえたモビリティ分野の取組
- * 国交省スマートシティ実装化支援事業への採択により、令和5年度から3年間で「四日市版MaaS」の開発構築を本格的に進めていきながら、一方で自動運転等の次世代モビリティも合わせて実装を目指す**

モビリティWG 実施報告（令和5年度実証実験）

令和5年度自動運転実証実験について

《令和4年度実証実験》

車 両 | 自動運転バス (NAVYA ARMA)

レベル | レベル3相当

期 間 | 25日間 (9月22日～10月16日)

※賑わい創出社会実験「はじまりのいち」と同期間実施

場 所 | 近鉄四日市駅～JR四日市駅



《令和5年度実証実験》

令和4年度の各課題を解決するための検証を行います。

車 両 | 自動運転バス (NAVYA ARMA) 2台

レベル | レベル3相当

期 間 | 秋頃

場 所 | 近鉄四日市駅～JR四日市駅

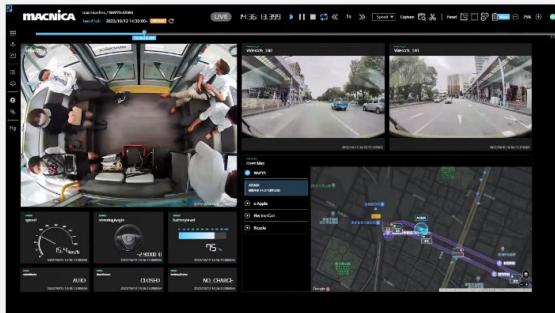
《令和4年度実証実験の課題》

遠隔監視

車両走行状態（位置・速度・車内外の映像の監視）の確認や将来的に無人走行を想定し、車内モニターを通した乗客とのコミュニケーションを（乗降時に遠隔監視室から案内等）実施した。

【課題①】

カメラ映像や遠隔監視室からのアナウンス時に、通信状況が悪くなり、映像や音声途切れるケースがあった。

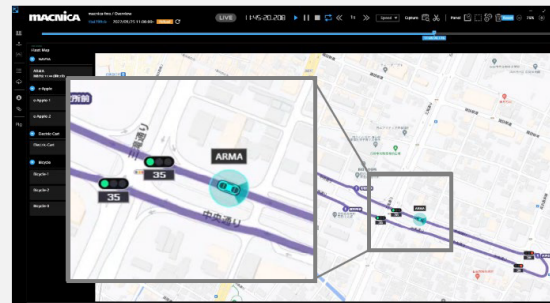


信号協調

信号制御機を信号情報を送ることができる機器に交換し、車両が信号機の情報（信号の残秒数）を得られるようにする信号協調を行った。信号情報は保安員のタブレットで確認し、この情報を運転士へ伝え、信号交差点への進入・停車を判断した。

【課題②】

信号情報をタブレットの画面に反映させるまでに最大約1秒程度の遅延が見受けられるといった課題があった。



運行頻度

【課題③】

近鉄四日市駅からJR四日市駅間を1周1時間で走行し、運行頻度が確保できなかった。



NAVYA ARMA

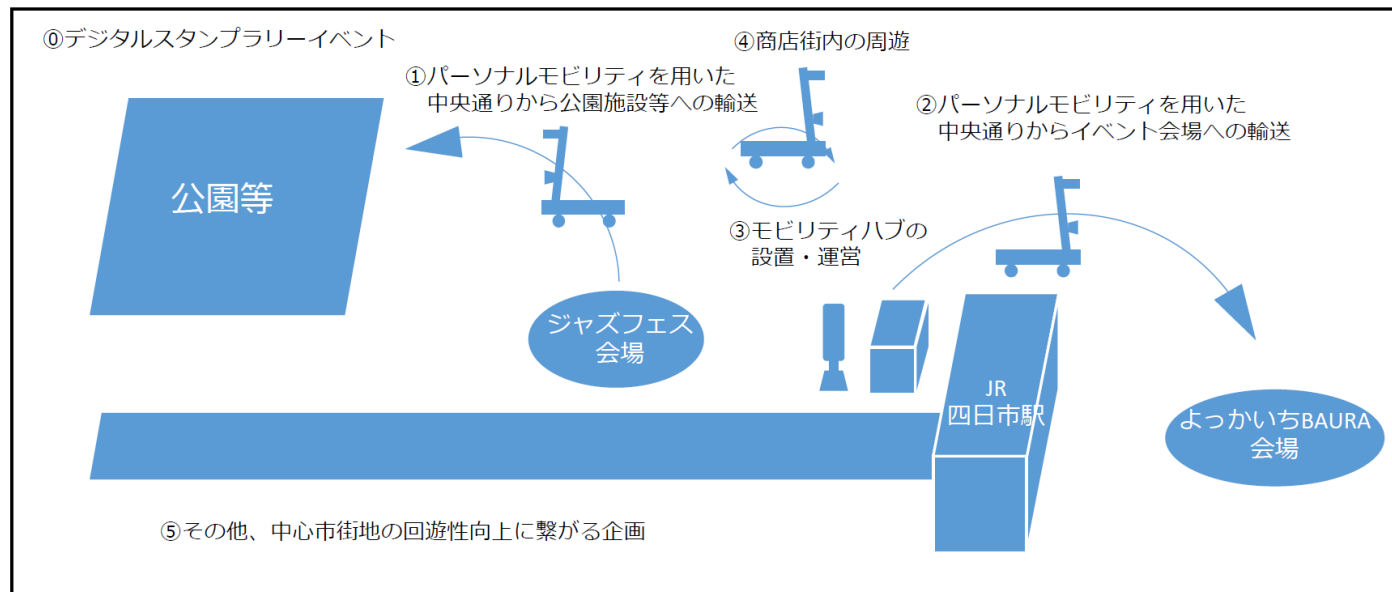
モビリティ実証実験と参加募集について

モビリティ実証実験の企画イメージ（例示）

モビリティ実証実験は、下記のような企画の実施を想定しております。

- ① デジタルスタンプラリーイベント（四日市版MaaS Phase1）
- +
- ① パーソナルモビリティを用いた中央通りから公園施設等への移動
- ② パーソナルモビリティを用いた中央通りからイベント会場への移動
- ③ モビリティハブの設置・運営
- ④ 商店街の中を周遊するパーソナルモビリティの検討
- ⑤ その他、中心市街地の回遊性向上に繋がる企画

等



モビリティWG 実施報告（SC実装化支援事業への採択）

【三重県四日市市】四日市スマートリージョン・コア推進事業

中央通りを中心としたデジタル時空間（ストック）マネジメント
 実行計画に記載されている取組のうち、特に令和5年度に整備される**中央通り沿いのパブリックスペースの利活用、公共交通の利用促進およびバーチャル空間を活用したコミュニティ形成に資する取り組み**を優先的に実証する。

実証事業に関する目標（KPI）※一部

| KPI(抜粋) | 現況 (R4年3月時点) | 目標 (R8年度) |
|------------|--------------|--------------|
| 中心市街地の歩行者数 | 58,406人 (休日) | 62,400人 (休日) |

実行計画(全体) 四日市スマートリージョン・コア ~都市軸と新たな「市（賑わい）」の創出~

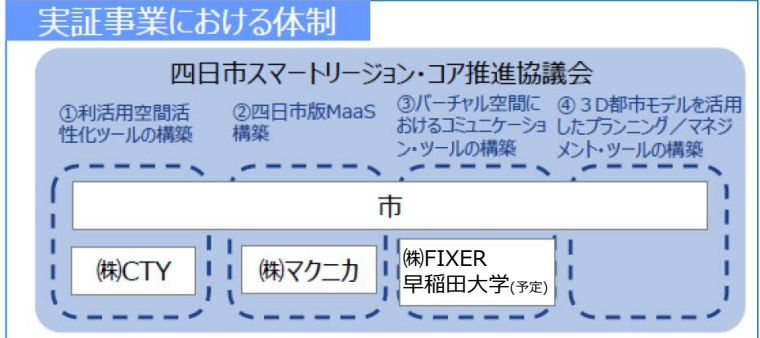
現在、四日市市中心市街地においては、まちなかの回遊性向上による賑わいの展開、都市の魅力・暮らしの質の向上、交流人口の増加、防災機能の向上などが課題とされている。これらの課題解決を目指して、四日市スマートリージョン・コア実行計画の目標を『都市軸と新たな「市（賑わい）」の創出』と設定。中央通り再編やパスタ整備という新たな都市軸の整備を契機として、新たな「市」では、市民や企業の積極的なまちづくり参加を促し、ウォーカブルな中心市街地の実現、新たな交流や価値の創出を目指す。
 (※「市（いち）」：四日市市の名称は中世から毎月4日に定期的な市場が開かれ、人・物・文化の交流の場であったことに由来する。)

スマート図書館
スマートバス
商店街活性化
ウェルネス環境
災害に強いまち

スマート街路灯
パブリックスペース利活用
デリバリーサービス
メタバース
マルチモビリティ

実証事業の内容

| 実証事業の種類 | 概要 |
|--|---|
| ① 利活用空間活性化ツールの構築 | <ul style="list-style-type: none"> 人流計測用のAIカメラ（スマート・インフラ）と情報発信用のデジタルサイネージの整備 取得したデータを視覚化するダッシュボードの構築 3者向けのサービス開発（混雑状況などの情報発信など市民向け、マーケティング情報など事業者向け、施策の効果把握など行政向け） |
| ② 四日市版 MaaS(Phase-1)の構築 | <ul style="list-style-type: none"> 自動運転バスやパーソナルモビリティなども含めた総合的な公共交通予約決済サービスの構築 将来的に駐車場、ホテル、レストラン等の予約システムとの連携を見据えた「MaaS×街歩き」サービスの展開 |
| ③ バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築 | <ul style="list-style-type: none"> 既存の「メタバースYOKKAICHI」のPLATEAUデータを活用したアップデート バーチャル空間上におけるアバターを活用した市民間の意見交換、集約機会の創出、サービス化 |
| ④ 中央通りにおける3D都市モデルを活用したプランニング/マネジメント・ツールの構築 | <ul style="list-style-type: none"> PLATEAUを活用した中央通りのデジタルインフラ台帳構築 データ利活用による中央通り公共空間及び施設計画の最適化ツールの構築 |



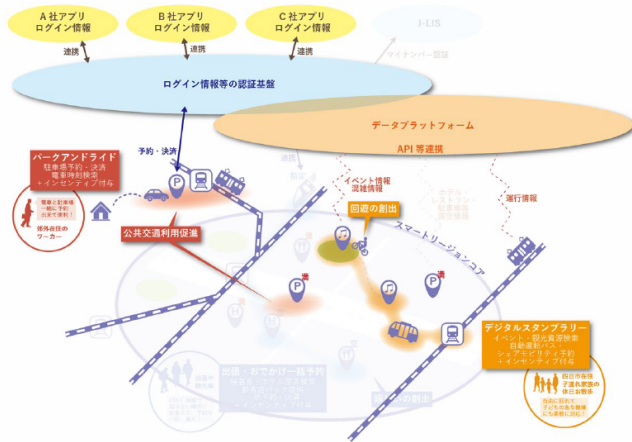
モビリティWG 実施報告（SC実装化支援事業への採択）

② 四日市版MaaS（Phase-1）の構築

■ 施策の概要

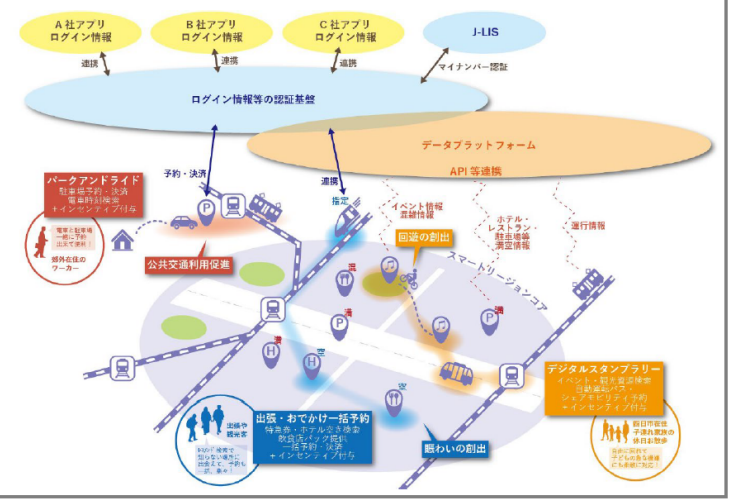
各種公共交通の一括予約・決済システムの構築による広域及び市内の移動円滑化と、駐車場予約などの機能を組み合わせた拡張型MaaSの構築

- ・ データプラットフォームとの連携
- ・ 駐車場予約やホテル予約などの外部サービスとの連携（公共交通及び外部サービスの予約・決済ページへのリンクを貼ることで対応）



R8年度以降：Phase-2
共通IDを活用した他企業アプリと連携（観光予約サイト、グルメ、ポータルサイト等）した「MaaS×街歩き」を実現

※マイナンバー及び共通ID認証システムはR8年度以降の実装を想定



■ 主体

- ・ 市、(株)マクニカ（整備、管理運営）

■ 期待する効果


公共交通利用者数、駐車場や周辺店舗等の利用者数、観光客数の増加を目指す。

■ スケジュール

| | R5年度 | | | | R6年度 | R7年度 | 備考 |
|--------------|-----------------|----|----|----|----------------------|------|----|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | | | |
| ●四日市版MaaSの構築 | デジタルスタンプラリーの実施 | | | | 公共交通の一括予約システムの構築 | 実装 | |
| | 駐車場のAPIがサービスの展開 | | | | 駐車場・ホテル予約等外部サービスとの連携 | | |

デジタルスタンプラリーの企画素案

メインターゲット：子供連れの家族、自動運転に関心もつ市民
利用イメージ：秋のイベント期間中、1日～複数日をかけて、デジタルスタンプを集め、子供が喜ぶ景品と交換する。
狙い：市内周遊で自動運転や多様なモビリティを試用頂く。イベント期間中の複数日参加のきっかけを作る。

| 項目 | 案 | 備考 |
|------|--|--|
| タイトル | 自動運転車両で行こう スタンプラリー(仮) | |
| 期間 | <ul style="list-style-type: none"> 開催時期想定：秋のイベント期間に含まれる土日祝日(5日程度想定) | <ul style="list-style-type: none"> デジタルスタンプラリーに対応するマンパワーを考慮した日程設定が必要。 |
| 目的地 | <ul style="list-style-type: none"> 中央通り近傍、市内主要施設 | <ul style="list-style-type: none"> 一日で回りきれられる程度の距離・箇所数に留意(初級/上級で差別化) 上級コースは中央通りから距離のある目的地も含める。 |
| 景品 | <ul style="list-style-type: none"> 初級コース、上級コースで景品差別化 ※景品の受け渡しは9:00-17:00 | <ul style="list-style-type: none"> 景品の受け渡し対応などが土日に発生する可能性に注意。受渡し場所要調整。 |
| システム | <ul style="list-style-type: none"> CTY開発システムとの連携を想定(CTYコネクト>MY CTY>スタンプラリーを選択) <p>目的地に物理的な掲示を設置する必要はない。 (スマホGPSで、10m程度まで近づくと、アプリ上でスタンプを入手可能な仕組みを想定)</p> |  |

7/11時点

デジタルスタンプラリーの目的地



The map shows the city of Shikokuchiyama with 11 numbered locations marked. The locations are: ① 四日市市茶室 泗翠庵, ② 四日市市市立博物館, ③ 四日市市民公園, ④ 諏訪公園, ⑤ 諏訪神社, ⑥ 稲葉三右衛門像, ⑦ 四日市市役所, ⑧ 近鉄四日市駅, ⑨ 稲葉翁記念公園, ⑩ 四日市市総合体育館(中央緑地), and ⑪ ばんこの里会館. The map also shows major roads like Route 477 and Route 164, and rivers like the Sanuki River.

| 候補案 |
|-------------------|
| ① 四日市市茶室 泗翠庵 |
| ② 四日市市市立博物館 |
| ③ 四日市市民公園 |
| ④ 諏訪公園 |
| ⑤ 諏訪神社 |
| ⑥ 稲葉三右衛門像 |
| ⑦ 四日市市役所 |
| ⑧ 近鉄四日市駅 |
| ⑨ 稲葉翁記念公園 |
| ⑩ 四日市市総合体育館(中央緑地) |
| ⑪ ばんこの里会館 |

備考：
目的地が分散しており、
難易度が高くなっているため、
初級コース（8個で景品）
上級コース（11個で景品）
を設定。

デジタルスタンプラリーの調整すべき項目

| 項目 | 調整内容 | 相談先 |
|--------|--|---------------------------|
| 景品 | 子供連れのファミリー参加が多いことを想定しつつ、景品を選定したい。 ・こにゅうどうくん人形 ・¥500QUOカード 等 | 四日市様 |
| 景品受渡場所 | 土日対応できる場所が必要。 ・CTYラウンジ ・市観光案内所 等 | 四日市様 四日市商工会議所様 CTY様 |
| 広報掲示 | デジタルスタンプラリーを認知し、参加してもらうための広告・掲示が必要。 秋のイベント会場、駅、市役所などと連携したい。 | 四日市様 三重交通様 近鉄HD様 |
| 目的地 | デジタルスタンプラリー目的地として 四日市中央通り周辺で設定すべき場所 | 全参加団体様 |
| KGI設定 | 取組の目的、アプリ仕様を勘案したKGIを設定する必要あり 目的①賑わいの創出 →参加者数、複数日の参加者数、アンケート 目的②回遊性向上 →各地点の来訪者数、移動距離 目的③モビリティ活用 →参加者のモビリティ利用回数、アンケート ・・・ | 参加団体様 CTY様 |

New

【三重県四日市市】四日市スマートリージョン・コア推進事業

中央通りを中心としたデジタル時空間（ストック）マネジメント

実行計画に記載されている取組のうち、特に令和5年度に整備される**中央通り沿いのパブリックスペースの利活用、公共交通の利用促進およびバーチャル空間を活用したコミュニティ形成に資する取り組み**を優先的に実証する。

実証事業に関する目標（KPI）※一部

| KPI(抜粋) | 現況(R4年3月時点) | 目標(R8年度) |
|------------|-------------|-------------|
| 中心市街地の歩行者数 | 58,406人(休日) | 62,400人(休日) |




実行計画(全体)

四日市スマートリージョン・コア
～都市軸と新たな「市（賑わい）」の創出～

現在、四日市市中心市街地においては、まちなかの回遊性向上による賑わいの展開、都市の魅力・暮らしの質の向上、交流人口の増加、防災機能の向上などが課題とされている。これらの課題解決を目指して、四日市スマートリージョン・コア実行計画の目標を『都市軸と新たな「市（賑わい）」の創出』と設定。中央通り再編やバス整備という新たな都市軸の整備を契機として、新たな「市」では、市民や企業の積極的なまちづくり参加を促し、ウォカブルな中心市街地の実現、新たな交流や価値の創出を目指す。
(※「市（いち）」：四日市市の名称は中世から毎月4日に定期的な市場が開かれ、人・物・文化の交流の場であったことに由来する。)



実証事業の内容

| 実証事業の種類 | 概要 |
|--|---|
| ① 利活用空間活性化ツールの構築 | <ul style="list-style-type: none"> 人流計測用のAIカメラ（スマート・インフラ）と情報発信用のデジタルサイネージの整備 取得したデータを視覚化するダッシュボードの構築 3者向けのサービス開発（混雑状況などの情報発信など市民向け、マーケティング情報など事業者向け、施策の効果把握など行政向け）  |
| ② 四日市版 MaaS(Phase-1)の構築 | <ul style="list-style-type: none"> 自動運転バスやパーソナルモビリティなども含めた総合的な公共交通予約決済サービスの構築 将来的に駐車場、ホテル、レストラン等の予約システムとの連携を見据えた「MaaS×街歩き」サービスの展開  |
| ③ バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築 | <ul style="list-style-type: none"> 既存の「メタバスYOKKAICHI」のPLATEAUデータを活用したアップデート バーチャル空間上におけるアバターを活用した市民間の意見交換、集約機会の創出、サービス化  |
| ④ 中央通りにおける3D都市モデルを活用したプランニング/マネジメント・ツールの構築 | <ul style="list-style-type: none"> PLATEAUを活用した中央通りのデジタルインフラ台帳構築 データ活用による中央通り公共空間及び施設計画の最適化ツールの構築  |

実証事業における体制

四日市スマートリージョン・コア推進協議会

- ① 利活用空間活性化ツールの構築
- ② 四日市版MaaS構築
- ③ バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築
- ④ 3D都市モデルを活用したプランニング/マネジメント・ツールの構築



実証事業から実装までのスケジュール

| | R5 | R6 | R7 | R8～ |
|---|----------------------------------|----------------------------|----------|-----|
| ① | 先行街区におけるスマート・インフラ実装 ダッシュボード検討 | スマート・インフラの調整、 各種サービスの構築 | | 実装 |
| ② | 社会実験（デジタルスタンプラリー等） | 交通検索システム導入 | 外部サービス連携 | 実装 |
| ③ | メタバスアップデート | イベント等開催、フィードバック | | 実装 |
| ④ | 仕様等検討 | 各街区において順次導入 | | 実装 |

(仮) 中央通りを中心としたデジタル時空間 (ストック) マネジメント

「四日市スマートリージョン・コア実行計画」に定める取り組み

今回ご提案する実証実験の内容

| 検討の階層 | No. | 取り組み内容 |
|---------------------------|-----|--------------------------------------|
| サービス まちなかウォークラブル・ネットワーク | 01 | ウォークラブル・ネットワーク、交通結節拠点としてのスマート・バスタの整備 |
| | 02 | 待ち時間や移動時間を楽しめるモビリティの導入 |
| | 03 | ウォークラブル+ウェルネス環境の展開 |
| サービス 使える・楽しめるパブリックスペース | 04 | パブリックスペースの可能性最大化 |
| | 05 | インタラクティブなストリートファニチャー |
| | 06 | 災害に強い中央通り |
| サービス 交流・賑わいのバリューアップ | 07 | 人流誘導による商店街活性化 |
| | 08 | スマート図書館 |
| | 09 | メタバース (デジタルツイン) |
| ソフト・インフラ | 10 | データプラットフォーム |
| | 11 | 3D都市モデル |
| ハード・インフラ | 12 | スマート・インフラ |

1 利活用空間活性化ツールの構築
(左記03・04・10・12と対応)

2 四日市版MaaS (Phase-1) の構築
(左記02と対応)

3 バーチャル空間における
コミュニケーション・ツールの構築
(左記09・11と対応)

4 中央通りにおける3D都市モデルを活用した
プランニング/マネジメント・ツールの構築
(左記11及び実行計画p.17「ソフト・インフラ」と対応)

- ・データプラットフォーム等のソフトインフラの整備
- ・中央通り再編に合わせたハードインフラの整備

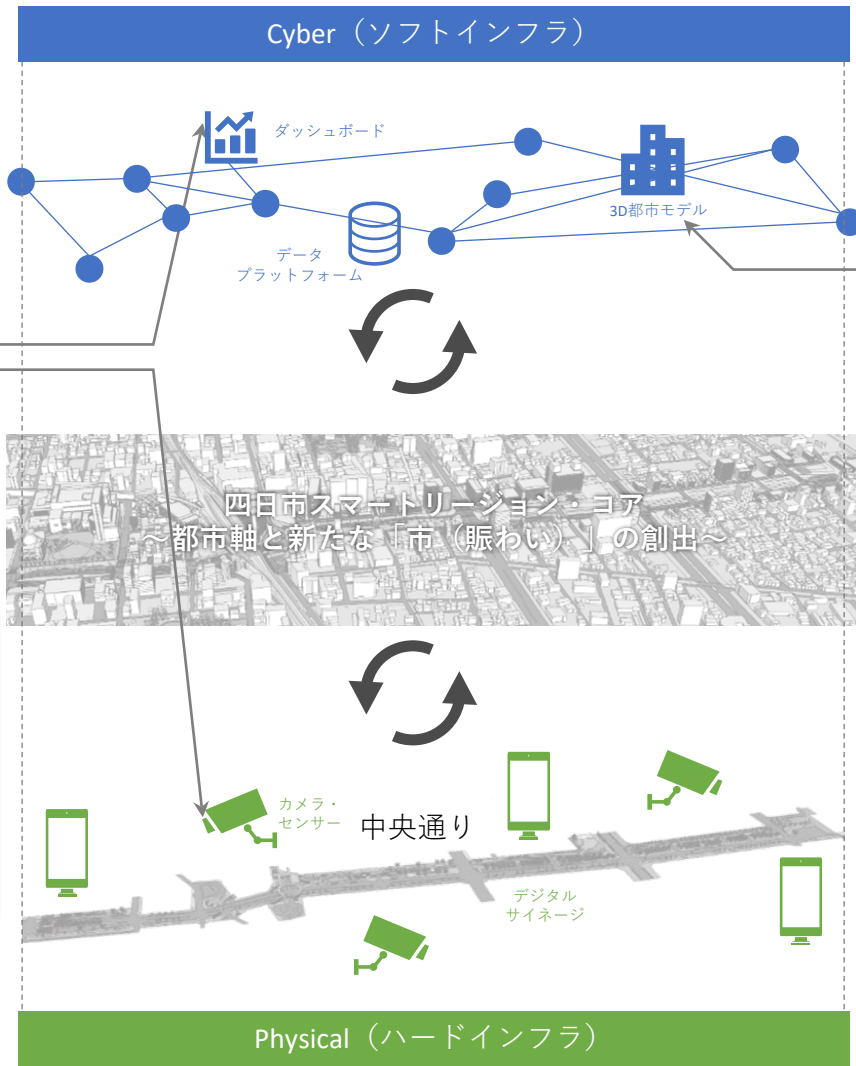
中央通りに整備されるインフラを活用した
ウォークブルな中心市街地・さらなる活性化の実現

① 利活用空間活性化ツールの構築

- ・人流計測用のAIカメラ（スマート・インフラ）と情報発信用のデジタルサイネージの整備
- ・取得したデータを視覚化するダッシュボードの構築
- ・3者向けのサービス開発（混雑状況などの情報発信など市民向け、マーケティング情報など事業者向け、施策の効果把握など行政向け）

② 四日市版MaaS（Phase-1）構築

- ・自動運転バスやパーソナルモビリティなども含めた総合的な公共交通予約決済サービスの構築
- ・将来的に駐車場、ホテル、レストラン等の予約システムとの連携を見据えた「MaaS×街歩き」サービスの展開



③ バーチャル空間における市民間のコミュニケーション・ツールの構築

- ・既存の「メタバースYOKKAICHI」のPLATEAUデータを活用したアップデータ
- ・バーチャル空間上におけるアバターを活用した市民間の意見交換、集約機会の創出、サービス化

④ 中央通りにおける3D都市モデルを活用したプランニング/マネジメント・ツールの構築

- ・PLATEAUを活用した中央通りのデジタルインフラ台帳構築
- ・データ利活用による中央通り公共空間及び施設計画の最適化ツールの構築

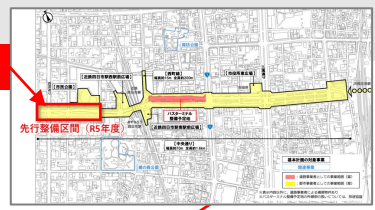
中央通りの段階的な整備に応じた
継続的な都市マネジメント

① 利活用空間活性化ツールの構築（スマート・インフラの整備）

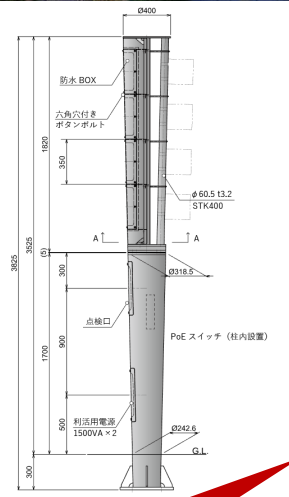
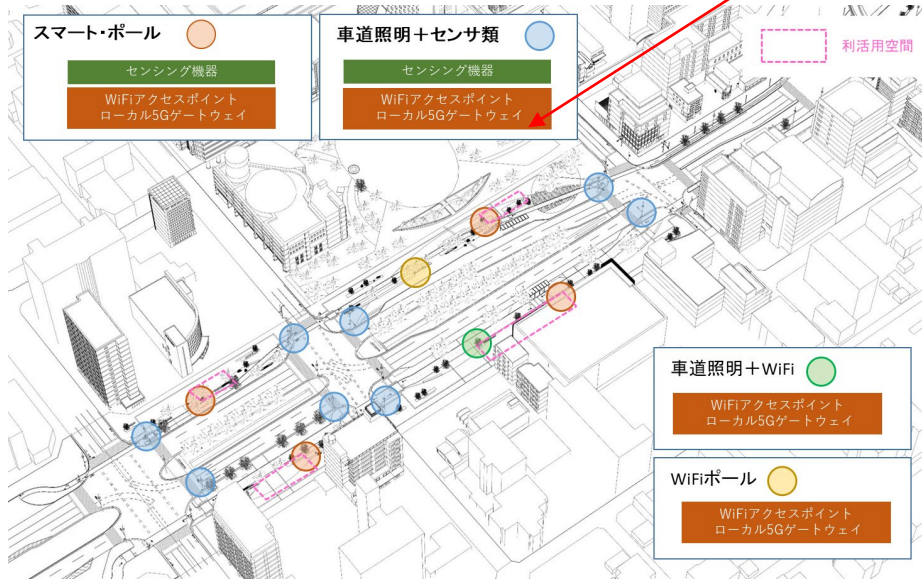
■ 施策の概要

中央通り沿いの先行街区にスマート・インフラを整備

先行街区



各街区の利活用空間周辺に集中的に整備



黄色の部分が今回の支援対象

<スマート・インフラの種類>

| 種類 | 目的 |
|-----------------|-----------------|
| 環境センサ | 温湿度等の微気候の計測 |
| WiFiアクセスポイント | 公衆ネットワークの提供 |
| ローカル5Gゲートウェイ | 機器同士の接続やデータ転送 |
| AIカメラ (車用、歩行者用) | 歩行者や自動車の交通量等の計測 |
| デジタルサイネージ | 各種情報発信 |

※街路灯やポールなどの躯体は別途整備、今回対象はAIカメラとデジタルサイネージの設備のみ

■ 主体

【AIカメラ、デジタルサイネージ】市、(株)シー・ティー・ワイ (整備、管理運営)

※環境センサ、WiFiアクセスポイント、ローカル5Gゲートウェイは別事業で整備

■ 期待する効果

※後述するサービスを展開するための基盤構築に関する内容のため、スマート・インフラを設置することによる効果は想定していません。

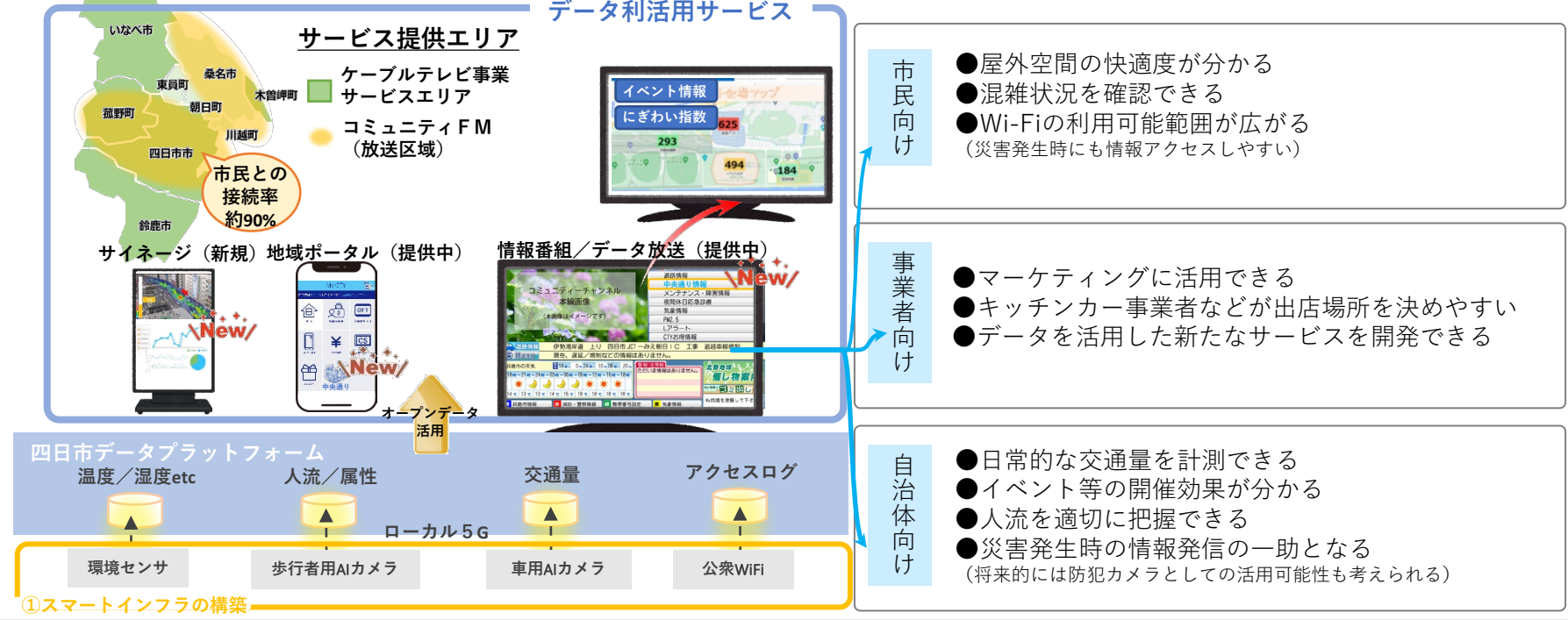
■ スケジュール

| | R5年度 | | | | R6年度 | R7年度 | 備考 |
|-----------------|----------------|--------------|-----------|----|--------------|------|--------------------------------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | | | |
| ●利活用空間活性化ツールの構築 | スマート・インフラ仕様検討等 | | | 施工 | スマート・インフラの調整 | 実装 | 対象は先行街区のみ。別の工区についてはR8年度以降に整備予定 |
| | | ダッシュボード仕様検討等 | ダッシュボード試作 | | | | |

① 利活用空間活性化ツールの構築（3者向けサービス展開）

■ 施策の概要

3者(市民・行政・事業者)向けダッシュボードを構築しテレビ・スマホなど各種媒体を通じ地域へ情報発信及び利活用の促進



■ 主体

市、(株)シー・ティー・ワイ (整備、管理運営)

■ 期待する効果

中央通り沿いの歩行者交通量を増加させるとともに、利活用空間のイベント数・来街者数を増加させることを目指す。

■ スケジュール

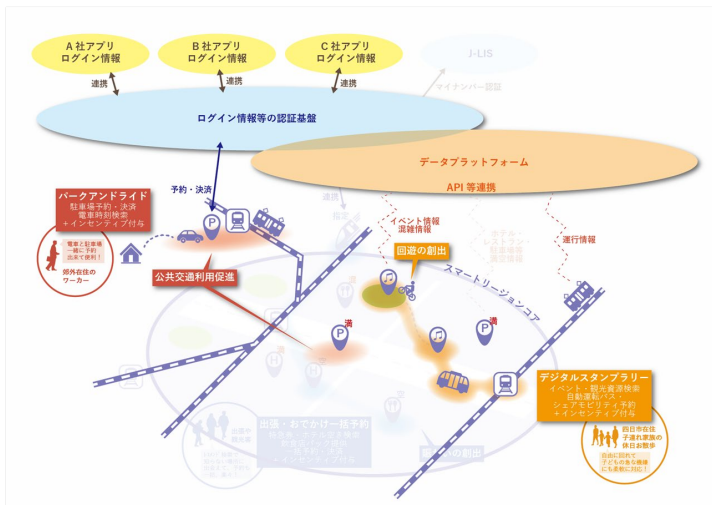
| | R5年度 | | | | R6年度 | R7年度 | 備考 |
|-----------------|----------------|----|-----------|----|----------------------------|------|--|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | | | |
| ●利活用空間活性化ツールの構築 | スマート・インフラ仕様検討等 | | | 施工 | スマート・インフラの調整 各主体別サービス構築 | 実装 | 対象は先行街 区のみ。別の工 区についてはR8 年度以降に整備 予定 |
| | ダッシュボード仕様検討等 | | ダッシュボード試作 | | | | |

② 四日市版MaaS (Phase-1) の構築

■ 施策の概要

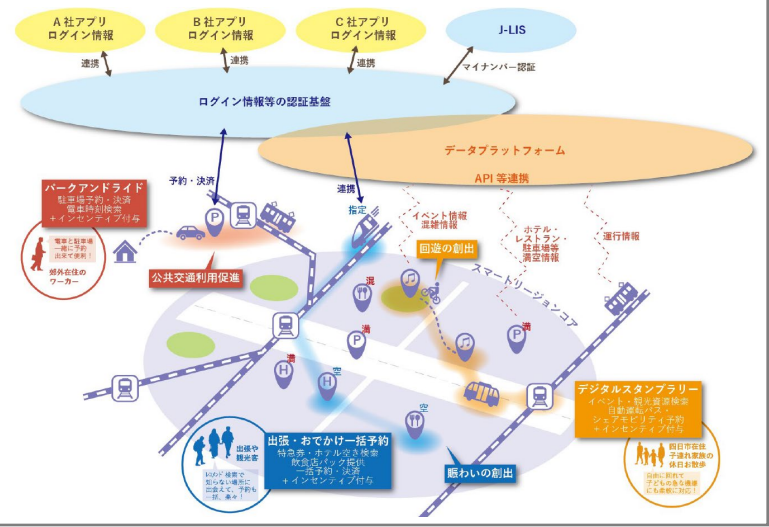
各種公共交通の一括予約・決済システムの構築による広域及び市内の移動円滑化と、駐車場予約などの機能を組み合わせた拡張型MaaSの構築

- ・データプラットフォームとの連携
- ・駐車場予約やホテル予約などの外部サービスとの連携（公共交通及び外部サービスの予約・決済ページへのリンクを貼ることで対応）



R8年度以降: Phase-2 共通IDを活用した他企業アプリと連携(観光予約サイト、グルメ、ポータルサイト等)した「MaaS×街歩き」を実現

※マイナンバー及び共通ID認証システムはR8年度以降の実装を想定



■ 主体

・市、(株)マクニカ(整備、管理運営)

■ 期待する効果

公共交通利用者数、駐車場や周辺店舗等の利用者数、観光客数の増加を目指す。

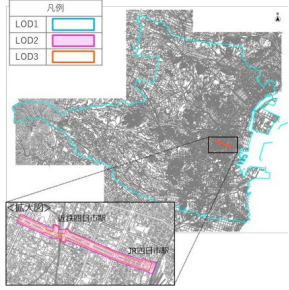
■ スケジュール

| | R5年度 | | | | R6年度 | R7年度 | 備考 |
|--------------|-----------------------|----|----|----|------------------|------|----|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | | | |
| ②四日市版MaaSの構築 | デジタルスタンプラリーの実施 | | | | 公共交通の一括予約システムの構築 | 実装 | |
| | 駐車場・ホテル予約等の外部サービスとの連携 | | | | | | |

③ バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築

■ 施策の概要

3D都市モデルPLATEAU



メタバース YOKKAICHI



- 仮想空間における将来イメージの重畳（バスタ円形デッキ、JR駅前の開発）
- 市民参加型のまちの利活用に関する交流（イベント開催、空間内の社会見学）
- 幅広い市民の方がアバターを介してコミュニケーション、意見交換を行う

■ 主体

- ・市(必要なデータ提供)
- ・(株)FIXER(バーチャル空間の整備・管理運営)
- ・早稲田大学(実施支援)

■ 期待する効果

バーチャル空間上におけるイベント数・参加者数の増加に伴う、市民の関心度の向上、地域産業の活性化、来訪者数の増加を目指す。

■ スケジュール

| | R5年度 | | | | R6年度 | R7年度 | 備考 |
|-----------------------------|-----------------------|----|---------------------|----|---------------------|------|----|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | | | |
| ①バーチャル空間におけるコミュニケーションツールの構築 | メタバースYOKKAICHIのアップデート | | イベント開催、意見交換、フィードバック | | イベント開催、意見交換、フィードバック | 実装 | |

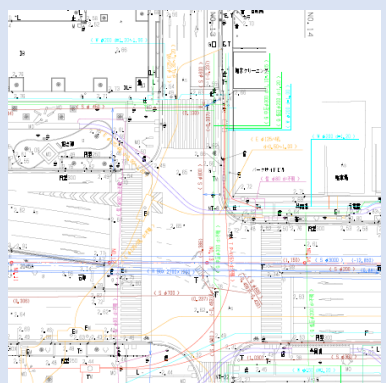
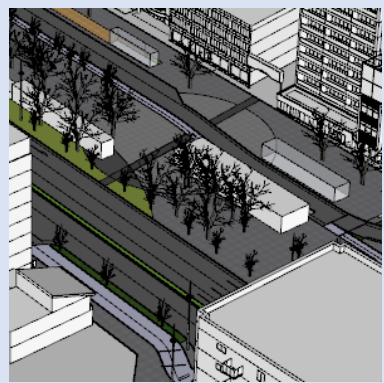
④中央通りにおける3D都市モデルを活用したプランニング/マネジメント・ツールの構築

■施策の概要

PLATEAUを活用した中央通りのデジタルインフラ台帳構築

樹木情報の一元管理と、CO₂排出量などの情報付加

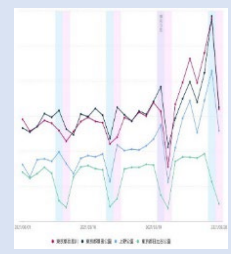
電気・上下水・通信などの地下埋設インフラの3Dデジタル台帳化
～維持管理の効率化に寄与



人流測定結果等を活用したスマート・プランニング

人流測定結果・シミュレーション結果等を活用した施設等計画の最適化検討

人流測定結果 + シミュレーション結果



パブリックスペース・施設計画等へ反映

中央通りの段階的整備に応じて精度向上

■主体

・市(業務発注)

■期待する効果

3D都市モデルを活用したインフラの効率的な維持管理の効率化に加え、より使いやすい公共空間の実現を目指す。

■スケジュール

| | R5年度 | | | | R6年度 | R7年度 | 備考 |
|---|-------|------------|----|-----------|------|------|----|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | | | |
| ●中央通りにおける3D都市モデルを活用したプランニング/マネジメント・ツールの構築 | | | | | | | |
| スマート・インフラ台帳の構築 | 仕様検討等 | 先行街区における構築 | | 他街区における構築 | 実装 | | |
| 公共空間及施設計画の最適化ツールの構築 | 仕様検討等 | シミュレーション | | | 実装 | | |

令和 5 年度四日市スマートリージョン・コア推進協議会
第 1 回幹事会

スマート・インフラに係る検討について

先行整備区間におけるスマート・インフラ実装計画概要

西浦通り～市民公園東（先行整備区間）

先行整備区間である西浦通り～市民公園東の西2期工事においては、スマートポールの整備を行う。また、R5度SC実装化支援事業を活用し、AIカメラの実証、データの視覚化について、実装に向けた整備を行う。

《近鉄四日市駅周辺(ECI事業区間)》

- ・工事支障物件の移設工事を、各占用事業者が実施中
- ・全体工程の最適化を図るため、バスタ整備に係る「地下駐車場出口躯体」の設計を国から受託
- ・バスタ整備で支障となる地下駐車場の既存換気塔や階段等の移設設計について、国から受託し、設計着手予定
- ・地下駐車場出口移設に係る仮設土留工事の一部を国から受託し、工事着手予定
- ・工事業業ヤードの確保に必要なとなる樹木移植が完了しており、引き続き、タクシー乗り場などの移設工事や車道振替工事、近鉄四日市駅東側の円形デッキの整備に着手
- ・ECIを採用したバスタ整備工事(1号近鉄四日市駅交通ターミナル整備工事)において、施工の実施を前提とした優先交渉権者に(株)大林組が選定され、令和6年から国により工事着手予定



《西浦通り～市民公園東(先行整備区間)》

- ・令和4年度に“西1期工事”にて、歩行者空間を広げる工事を完了
- ・既発注の“西2期工事”及び“西3期工事(植栽工等)”にて、令和5年度に歩道部等を含め先行整備区間を完成予定
- ・令和5年度から6年度にかけて市民公園の整備を予定

《国道1号～JR四日市駅》

- ・令和5年度から令和6年度にかけて車道を縮小し歩道を広げる工事に着手し、引き続き、北側の歩行空間整備(公園化整備)を進める予定
- ・Park-PFIの活用に向け、公開型のアンケート調査を5月下旬から実施し、このアンケート結果を踏まえ、Park-PFI事業への関心が高い事業者を中心に詳細なサウンディング調査を実施し、事業者公募に向けた検討を進める

先行整備区間 (西2工区) におけるスマート・インフラ整備の目的

R4年度第1回幹事会で提示したスマート・インフラの目的のうち、先行整備区間においては、下記項目を採用する。

R4年度第1回幹事会で提示

| 目的: 何のために? | 手法: 何を? | 整備手法: どうやって? |
|---|--|---|
| ①街路空間の安全かつ効率的な運用 ～状況に応じた歩行者環境のマネジメント | ①-1. 歩行者及び自転車交通量のデータ取得 | ・中央通り沿いの主要断面にセンサ等を設置、歩行者及び自転車断面交通量を計測 |
| | ①-2. 歩行者滞留状況のデータ取得 | ・中央通り沿いの利活用空間付近にセンサ等を設置、歩行者滞留状況を計測 |
| | ①-3. 環境に係るデータ取得、情報提供 | ・中央通り沿いの利活用空間付近にセンサ等を設置、温度、湿度、WBGT(暑さ指数)等を測定 ・適切な端末(スマホ、デジタルサイネージ等)を通じた情報提供 |
| ②公共交通の効率的な運用 ～バス周辺の人流・交通マネジメント | ②-1. バスタ周辺の交差点における自動車交通量のデータ取得 | ・バスタ周辺の主要交差点(※設置箇所検討中)にセンサ等を設置、方向別・時間帯別・車種別交通量の測定 |
| | ②-2. バスタ利用者の交通量及び滞留状況のデータ取得及び情報提供 | ・バスタ内部にセンサ等を設置、主要断面における人流、窓口や滞留空間における混雑度の測定 ・適切な端末(スマホ、デジタルサイネージ等)を通じた情報提供 |
| ③市民・来訪者の利便性向上 ～適切な情報発信、景観演出 | ③-1. 情報に繋がりがやすい通信インフラの構築 | ・中央通り沿いの利活用空間付近にWiFiを設置 |
| | ③-2. 中心市街地における観光・交通・注意喚起*等に係る情報提供(*: 翌日の天候、コロナ感染状況等) | ・観光、商店街、交通情報などをリアルタイムに表示できるデジタルコンテンツ構築 ・適切な端末(スマホ、デジタルサイネージ等)を通じた提供 ・街路灯における照明の色を通じた情報提供(PRライティング)や、街区単位で周辺環境や時間帯に応じて調光(消灯や減光等) |
| | ③-3. 来街者の属性の推定・情報提供 | ・利活用空間におけるセンサ等を設置、来街者の属性(性別、年代)推定 ・商業者等への適切な端末を通じた情報提供 |
| ④省エネ・創エネ・蓄エネの推進 (検討中) ～脱炭素社会の構築 | | ・ストリートファニチュア等における太陽光発電や蓄電池などの導入を今後検討 |

歩きやすい(ウォーカブルな)中心市街地の実現

先行整備区間において導入する機能

歩行者及び自転車断面交通量の計測

利活用空間における歩行者滞留量の計測

利活用空間における温度、湿度、WBGTの計測

自動車交通量、車種別交通量の測定

※対象外

WiFiアクセスポイント、ローカル5G Gateウェイの設置

上記収集データの視覚化

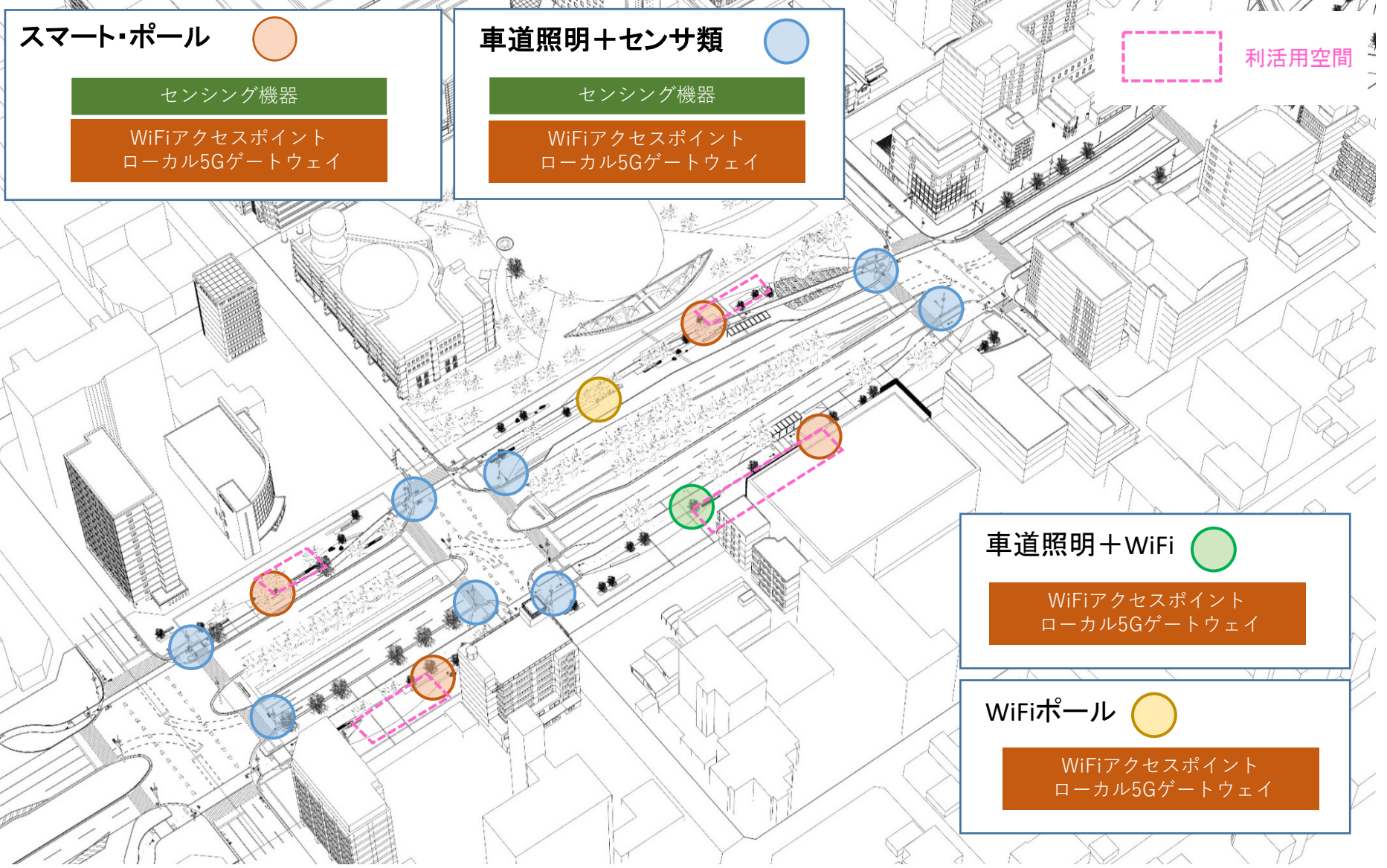
※PRライティングは対象外

※オプションとして検討

※対象外

先行整備区間におけるスマート・インフラの設置個所と種類

以下に示す機器の設置個所と機器の種類を**最大数**とし、主に利活用空間のデータを計測することとする



■利活用空間の考え方

(第15回デザインワーキンググループ資料より)

- 利活用空間については、歩行者利便増進道路（ほこみち）の指定を見据え、占用可能範囲等について検討を行った。
- 利活用空間の使われ方については、基本的には緑化施設（プランター）・休憩施設（テーブル・チェア）・食事購買施設（仮設屋台・キッチンカー）を基本とし、ユマニテク前の幅1mの地先については、休憩施設を設置可能な利活用空間とする計画。

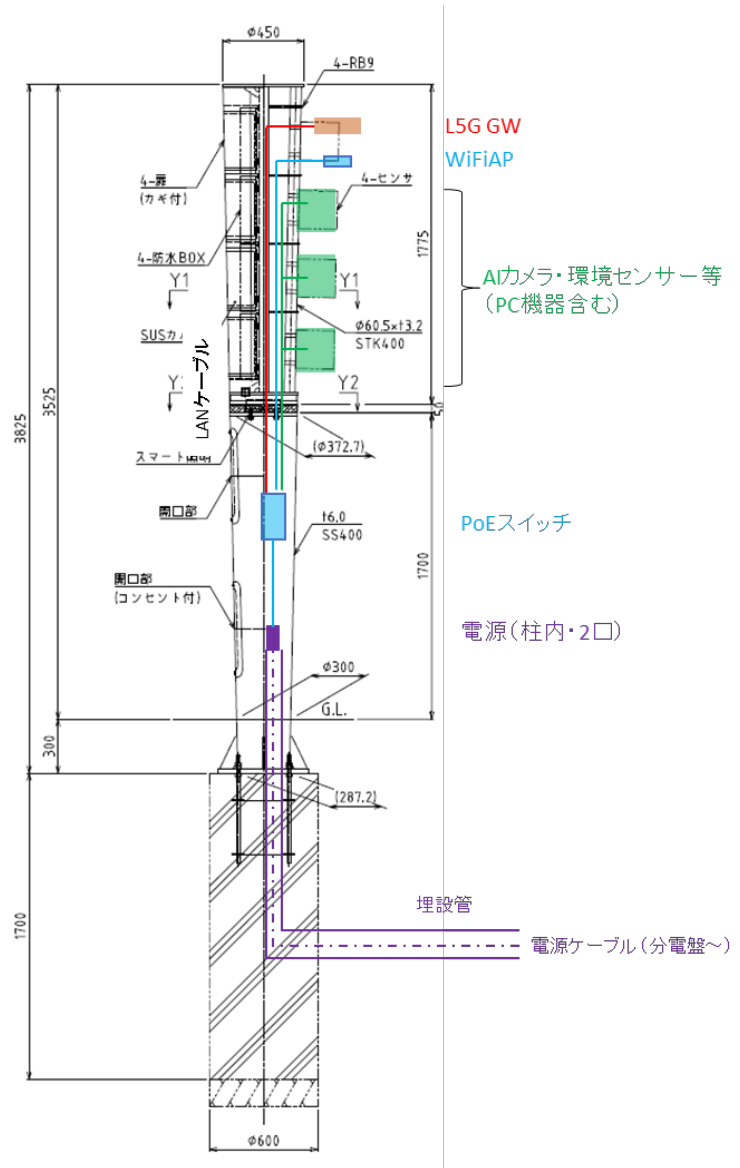


利活用空間のイメージ



■スマート・ポール デザイン案

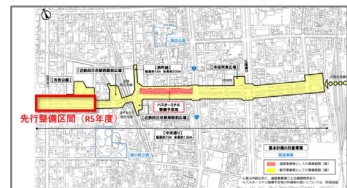

(各機器設置位置イメージ)



■SC実装化支援事業提案書より抜粋

3. 【三重県四日市市】四日市スマートリージョン・コア推進事業の取組概要

| | | | |
|--------------|-------------|---|----|
| 国土交通省 都市局 | 通常タイプ | | 80 |
| | 都市サービス実装タイプ | ○ | |

| | | | | | |
|---------|--|--|-------------|---|---|
| 既住の取組内容 | 令和3・4年度に中心市街地において、複数種類のセンサ等を用いた人流・自動車交通流等の測定・視覚化を実証済（市・CTY社等実施）。 | 令和4年 転等のモ 済市・マ | R5年度 | 先行整備区間におけるスマート・インフラの整備、視覚化の準備 <ul style="list-style-type: none"> 中央通りの先行整備区間において、スマート・インフラ（AIカメラ、デジタルサイネージ）を整備 収集したデータを可視化するためのダッシュボード、3者（市民・事業者・行政（管理者））向けのサービスを構築 |  |
| 今回実証の概要 | 中央通り沿いに スマート・インフラ（AIカメラ、デジタルサイネージ、環境センサ、WiFi、ローカル5G等※）を段階的に整備し、そこから得られたデータを基にダッシュボードを構築し、利活用を促進するための3者（市民・行政・事業者）向けサービスを展開 する。 ※環境センサ、WiFi、ローカル5Gは別事業で整備 | 各種公共 人の構築 滑化と、駐 合わせた (Phase 令和8年 企業アプリ メ、ポータル 「MaaS」 | R6～ R7年度 | 利活用空間の活性化、賑わいの創出 <ul style="list-style-type: none"> 先行整備区間を対象としたサービスを展開（スマホ、デジタルサイネージ等への公開） 下記の指標を定期的に公表、フィードバックを繰り返すことに寄り、各年度末に成果を検証 <ul style="list-style-type: none"> 利活用空間の利用者数増加 歩行者交通量の増加 キッチンカー等の出店回数増加 |  |
| 目標等 | 中央通り沿いの歩行者交通量を増加させるとともに、利活用空間のイベント数・来街者数を増加させることを目指す。 | 公共交通 舗等の利用 指す。 | | | |

■実装までのスケジュール

| | R5年度 | | | | R6年度 | R7年度 | 備考 |
|-----------------|----------------|----|-----------|----|----------------------------|------|--------------------------------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | | | |
| ①利活用空間活性化ツールの構築 | スマート・インフラ仕様検討等 | | | 施工 | スマート・インフラの調整 各主体別サービス構築 | 実装 | 対象は先行街区のみ。別の工区についてはR8年度以降に整備予定 |
| | ダッシュボード仕様検討等 | | ダッシュボード試作 | | | | |

データプラットフォームについて

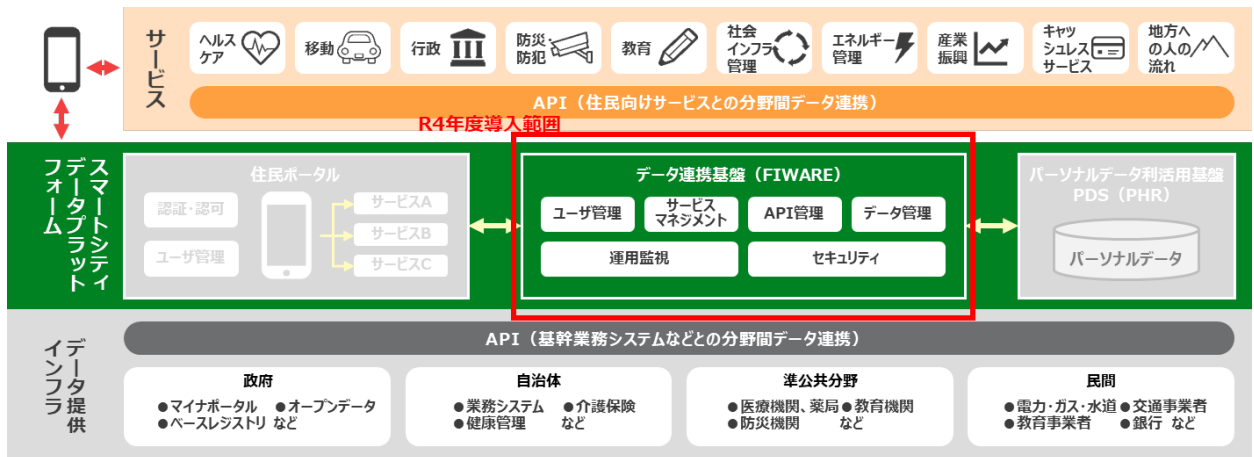
四日市スマートリージョン・コア実行計画に基づき、令和4年度にデータプラットフォームの構築を行った。

構築したデータプラットフォームは、今後整備するスマートインフラや、行政が保有するオープンデータ、民間企業等が保有するデータ等、様々なデータと連携し、中心市街地におけるスマート化の取組（サービス）に必要なデータを供給するデータ連携基盤の機能のみ先行して導入した。今後の取組に応じて、個人情報扱うパーソナルデータ利活用基盤や住民ポータル機能等を拡張予定。

図1 四日市スマートリージョン・コア実行計画スケジュール

| 番号 | 取り組み内容 | スケジュール | | | | | |
|----|--------------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------------|-----------------|-----------------------|
| | | 令和4 (2022)年度 | 令和5 (2023)年度 | 令和6 (2024)年度 | 令和7 (2025)年度 | 令和8 (2026)年度 | 令和9 (2027)年度 以降 |
| 07 | 人流誘導による商店街活性化 | 与件整理、関係者調整 | | 実証実験 | 部分実装 | | |
| 08 | スマート図書館 | | | 設計、調整、実装 | | | |
| 09 | メタバース (デジタルツイン) | システム構築 | | | 実装 (運用開始後に段階的に拡張) | | |
| 10 | データプラットフォーム | システム構築 | | | 実装 (運用開始後に段階的に拡張) | | |
| 11 | 3D都市モデル | システム構築 | | ユースケース実施 | 実装 (運用開始後に段階的に拡張) | | |
| 12 | スマート・インフラ | 設計・調整 | | 部分実装 | | 全体実装 | |

図2 データプラットフォームの概念図



アイデアソンについて

データプラットフォームの利活用推進に向けて、データを活用して地域課題を解決する新たなサービスの創出を目的とした、アイデアソンを今年度の10月に実施予定。テーマ（中心市街地における解決すべき地域課題）を設定し、その解決方法についてのアイデア出しを行う。

アイデアソンで設定するテーマ（解決すべき地域課題）については、8月7日（月）に開催したワークショップ（図1参照）で出た意見をもとに検討する。

また、アイデアソンで出たアイデアについては、翌年度以降、ハッカソン等によって、その実現方法について議論する予定（図2参照）。

図1 ワークショップ（8月7日開催）概要

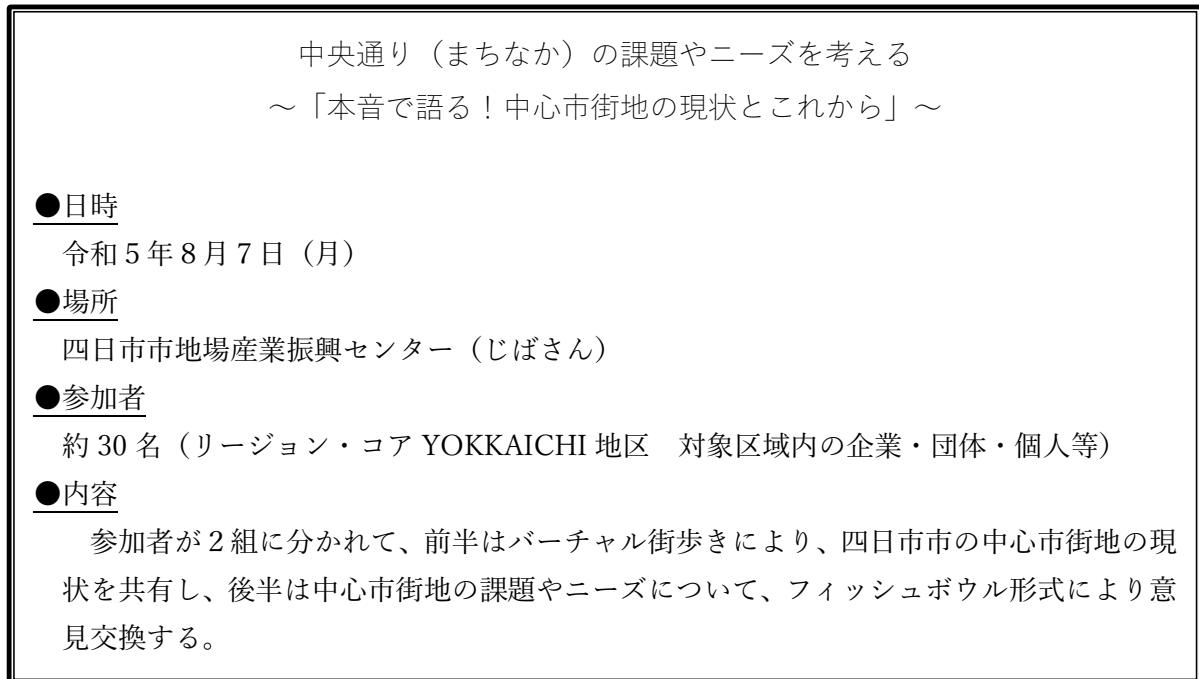
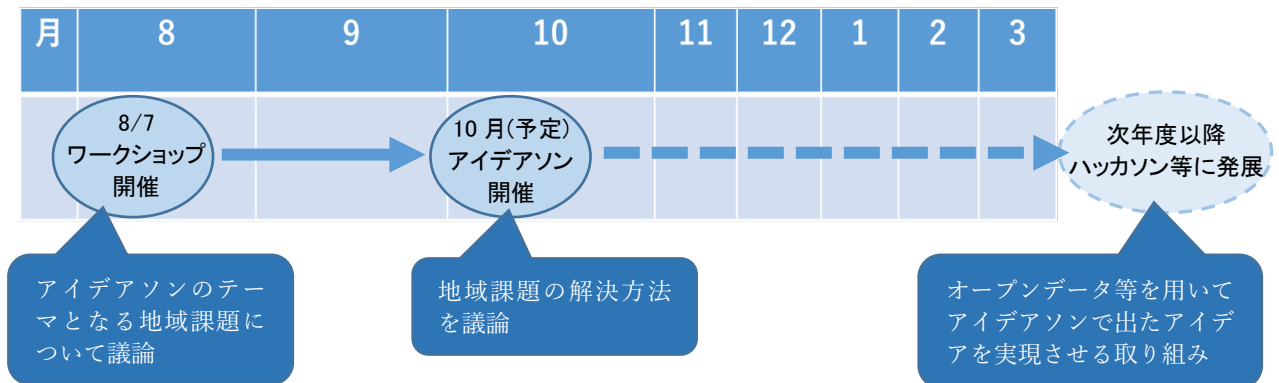


図2 今後の予定



令和5年度四日市スマートリージョン・コア推進協議会 第1回幹事会
出席者名簿

別添1

令和5年8月17日(木) 14:00~16:00
四日市商工会議所 3階 大会議室(オンライン併用)

| 区分 | 所属 | 氏名 | 出欠 | 随行 | 現地/オンライン | |
|-----------|---|-----------------------------------|--------------|---------------------------------|----------|-------|
| 有識者 | 東京大学 大学院 工学系研究科 准教授 | 村山 顕人 | ○ | | 現地 | |
| | 名城大学理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授 | 松本 幸正 | ○ | | オンライン | |
| | 早稲田大学 大学院 創造理工学研究科 教授 | 有賀 隆 | ○ | | オンライン | |
| 交通関係者 | 近畿日本鉄道(株) 鉄道本部 名古屋統括部 施設部 部長 | 阪田 道夫 | ○ | | オンライン | |
| | 三重交通(株) 専務取締役 | 久保田 重人 | ○ | 企画部部長 小瀬古 恵則(現地) | 現地 | |
| | 三岐鉄道(株) 自動車部 運行管理課長 | 伊藤 真郷 | ○ | | 現地 | |
| | (株)三交タクシー 代表取締役社長 | 橋本 明雄 | | 代理出席 専務取締役 柴井 喜久 | 現地 | |
| 幹事会 役員 | 学校法人みえ大橋学園 理事長 | 大橋 正行 | | 代理出席 伊藤 和泉 | 現地 | |
| | (株)近鉄百貨店 四日市店営業推進部営業推進課 担当マネージャー | 木室 康弘 | ○ | | オンライン | |
| | 四日市商工会議所 専務理事 | 山下 二三夫 | ○ | 商工振興課長 水谷 貴宣(現地) | 現地 | |
| | (株)ディア四日市 代表取締役社長 | 鈴木 主計 | ○ | | 現地 | |
| | 近鉄グループホールディングス(株) 事業戦略部 部長 | 北畠 肇 | ○ | 事業戦略部 今井 健太(現地) | 現地 | |
| | 近鉄不動産(株) 名古屋事業本部賃貸事業部 部長 | 吉田 健 | ○ | | オンライン | |
| | (株)シー・ティー・ワイ 取締役 取締役ICTソリューション推進部 部長 安達 勝也 | 安達 勝也 | | 代理出席 ソリューション営業課 課長 山本 龍太郎 | 現地 | |
| | (株)三十三銀行 営業企画部 デジタル・リテール企画課 課長 | 福田 賢治 | ○ | | オンライン | |
| | 中部電力(株) 事業創造本部 課長 | 片山 哲郎 | ○ | 事業創造本部 白江 真二(現地) | 現地 | |
| 行政 | 国土交通省 中部地方整備局 三重河川国道事務所 副所長 | 毛利 勇 | ○ | | オンライン | |
| | 三重県 県土整備部 都市政策課 街路公園班 班長 | 辻 哲二 | ○ | 左橋 直也(オンライン) | オンライン | |
| | 四日市市 副市長 | 館 英次 | ○ | | 現地 | |
| 賛助会員 | (株)マクニカ スマートシティ&モビリティ事業部 部長 | 福田 泰之 | ○ | CPSソリューション開発部 小出 優(オンライン) | オンライン | |
| オブザーバー | 行政 | 国土交通省 都市局 街路交通施設課 街路交通施設安全対策官 | 崎谷 唯比古 | ○ | | オンライン |
| | | 国土交通省 都市局 都市政策課 デジタル情報活用推進室 専門調査官 | 坂口 正樹 | ○ | | オンライン |
| | | 国土交通省 都市局 都市計画調査室 都市交通係長 | 工藤 文也 | ○ | | オンライン |
| | | 国土交通省 中部地方整備局 建政部 都市整備課 課長補佐 | 中村 智和 | ○ | | オンライン |
| | | 国土交通省 中部運輸局 交通政策部 交通企画課長 | 勝山 祐樹 | ○ | | オンライン |
| | | 国土交通省 中部運輸局 三重運輸支局 首席運輸企画専門官 | 前葉 光司 | ○ | | 現地 |
| 事務局 | 行政 | 四日市市 政策推進部 | 部長 荒木 秀訓 | | | |
| | | 四日市市 政策推進部 政策推進課 | 課長 矢澤 賢太郎 | | | |
| | | 四日市市 総務部 ICT戦略課 | 課長 林 雄士 | | | |
| | | 四日市市 政策推進部 広報マーケティング課 | 課長 秦 英博 | | | |
| | | 四日市市 危機管理統括部 危機管理課 | 課長 後藤 明彦 | | | |
| | | 四日市市 シティプロモーション部 観光交流課 | 課長 大橋 剛 | | | |
| | | 四日市市 商工農水部 商業労政課 | 課長 秦 昌洋 | ※オンライン | | |
| | | 四日市市 商工農水部 工業振興課 | 課長 釜淵 俊之 | ※オンライン | | |
| | | 四日市市 環境部 環境政策課 | 課長 内糸 豊 | | | |
| | | 四日市市 都市整備部 都市計画課 | 課長 鈴木 淳 | | | |
| | | 四日市市 都市整備部 市街地整備課 | 課長 戸本 直弥 | | | |

令和5年度第1回四日市スマートリージョン・コア推進協議会 幹事会 席次表

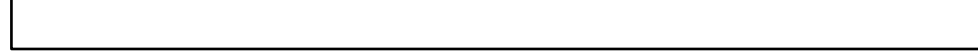
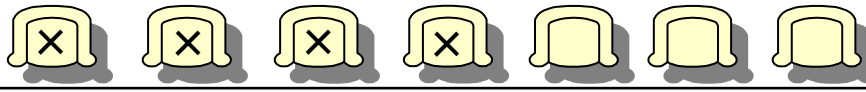
令和5年8月17日(木) 14:00~16:00

四日市商工会議所 3階 大会議室 (オンライン併用)

スクリーン

座長 日建設計 四日市市
村山 顕人 総合研究所 政策推進部

事務局



㈱シー・ティー・ワイ
取締役 ICTソリューション推進部
部長 安達 勝也
(代理:ソリューション営業課
課長 山本 龍太郎)

プロジェクター

三重交通㈱
専務取締役
久保田 重人

学校法人みえ大橋学園
理事長 大橋 正行
(代理:伊藤 和泉)

近鉄グループホールディングス㈱
事業戦略部長
北畠 肇

三岐鉄道㈱
自動車部
運行管理課長
伊藤 真細

中部電力㈱
事業創造本部
片山 哲郎 課長

㈱ディア四日市
代表取締役社長
鈴木 主計

㈱三交タクシー
代表取締役社長
橋本 明雄
(代理:専務取締役
染井 喜久)

四日市商工会議所
専務理事
山下 二三夫

国土交通省中部運輸局
三重運輸支局
首席運輸企画専門官
前菜 光司

四日市市
副市長
館 英次

事務局

関係者

関係者

四日市市 ICTソリューション部 観光交流課 課長
四日市市 危機管理統括部 危機管理課 課長
四日市市 総務部 ICT戦略課 課長
四日市市 政策推進部 政策推進課 課長
四日市市 政策推進部 部長
四日市市 政策推進部 広報マーケティング課 課長
四日市市 環境部 環境政策課 課長
四日市市 都市整備部 都市計画課 課長
四日市市 都市整備部 都市整備課 課長

関係者 関係者 関係者 関係者 関係者 関係者 関係者 関係者

関係者

関係者

関係者

関係者

関係者

出入口

+※ WEB参加者については、【別添1:出席者名簿】を参照ください

参画申込

2023年6月29日

四日市スマートリージョン・コア推進協議会

会長 森 智広 様

中部電力株式会社

事業創造本部 部長 林 俊弥



謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社は、四日市スマートリージョン・コア推進協議会の趣旨に賛同し、入会いたしたいので、ご承認くださるよう申請いたします。

弊社は、脱炭素化やDXの進展に伴う社会システムの変革に貢献するため、地域の皆さまや各セクターとの連携を大切にしながら、まちづくりへの参画、地域密着型サービスの領域拡大、エネルギーや資源の最適循環を実現する事業への参画などを通じて、「新たなコミュニティの形」の提供を加速させております。

つきましては、弊社の協議会への参画について、ご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

参画申請

2023年7月3日

四日市スマートリージョン・コア推進協議会
会長 森 智広 様

早稲田大学理工学術院 教授
大学院創造理工学研究科建築学専攻
都市空間・環境デザイン研究室 有賀 隆



謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃、本学の研究・教育には格別のご高配を賜り、誠に有難うございます。

申請者の早稲田大学理工学術院教授・有賀隆は、国土交通省スマートシティ実装化支援事業への応募・参画に際して、「四日市スマートリージョン・コア推進事業・中央通りを中心としたデジタル時空間（ストック）マネジメント」の趣旨に賛同し、四日市スマートリージョン・コア推進協議会に入会いたしたいのでご承認くださるよう申請いたします。

申請者は、本学において建築学の研究・教育を担当しています。とりわけ都市計画学・まちづくり分野の研究では、国内外の都市・地域を対象として地域協働まちづくりの計画支援技術の研究開発や実装化、また既存の市街地建築ストックや低未利用空間の再価値化による地域環境再生の理論と手法研究で先導的な役割を果たしています。これまでに、(一社)日本建築学会・都市計画委員長・理事や、(公益)日本都市計画学会・理事などを歴任し、国内の同分野の発展に貢献してきました。

また貴市においては、これまでに都市計画審議会・委員、中心市街地活性化基本計画策定委員会・委員、立地適正化計画策定委員会・委員、さらに「ニワミチよっかいち」中央通り再編基本計画・関係者調整会議・座長などを歴任し、貴市が進める都市計画行政ならびに市街地整備事業に、専門家の立場から参画をしてきております。

つきましては、貴市の「四日市スマートリージョン・コア推進事業・中央通りを中心としたデジタル時空間（ストック）マネジメント」の実現に向けて、申請者の協議会への参画について、ご承認を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

四日市スマートリージョン・コア推進協議会
会長 森 智広 様

社名変更の届出

謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社では2022年4月1日に株式会社日建設計シビルを吸収合併しましたが、協議会における社名変更が正式になされていなかったため、このたび、改めて社名変更を届け出いたします。

引き続き、協議会の一員として貢献させていただきますので、より一層のご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます

謹白

2023年8月10日

株式会社日建設計 名古屋オフィス
執行役員名古屋代表 山本 秀樹



記

| | |
|-----|-------------|
| 旧社名 | 株式会社日建設計シビル |
| 新社名 | 株式会社日建設計 |